

資料編

資料編

資料1 石巻市健康増進計画推進委員会の経過

会議名称 開催年月日	検 討 内 容
市民健康調査 平成 24 年 12 月～ 平成 25 年 1 月	・ 市民健康調査、母子保健アンケート調査実施
平成 24 年度第 2 回健康増進 計画推進委員会 平成 25 年 3 月 27 日	・ 市民健康調査結果について ・ 健康増進計画改訂版策定について
平成 25 年度第 1 回健康増進 計画推進委員会検討部会 平成 25 年 7 月 2 日	・ 「石巻市の現状」「中間評価」等について ・ 計画の基本方針及びコンセプトについて
平成 25 年度第 1 回健康増進 計画推進委員会 平成 25 年 7 月 30 日	・ 「石巻市の現状」「目標達成状況」等について ・ 計画の基本方針及びコンセプトについて
平成 25 年度第 2 回健康増進 計画推進委員会検討部会 平成 25 年 11 月 13 日	・ 健康増進計画改訂版（素案）の検討
平成 25 年度第 2 回健康増進 計画推進委員会 平成 25 年 11 月 27 日	・ 健康増進計画改訂版（素案）の協議
パブリックコメントの実施 平成 26 年 1 月 6 日～24 日	第 2 期食育推進計画（素案）の意見募集 （4 人から 8 件の意見）
平成 25 年度第 3 回健康増進 計画推進委員会検討部会 平成 26 年 2 月 5 日	・ パブリックコメント実施結果について ・ 健康増進計画改訂版の最終修正検討
平成 25 年度第 3 回健康増進 計画推進委員会 平成 26 年 2 月 18 日	・ パブリックコメント実施結果について ・ 健康増進計画改訂版の最終修正検討

資料2 石巻市健康増進計画推進委員会設置要綱

平成19年3月16日告示第73号
改正

平成20年3月31日告示第91号

平成22年7月30日告示第172号

石巻市健康増進計画推進委員会設置要綱

(設置)

第1条 健康増進法（平成14年法律第103号）第8条第2項の規定に基づき策定した石巻市健康増進計画（以下「増進計画」という。）の推進を図るため、石巻市健康増進計画推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 増進計画の推進と進行管理に関すること。
- (2) 市民の健康増進に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 保健医療に携わる者
- (3) 福祉業務に携わる者
- (4) 健康に関する各種団体に所属する者
- (5) 関係行政機関の職員
- (6) 学校保健に携わる者
- (7) 事業所等産業保健に携わる者
- (8) 保健医療福祉に関心を有する者で一般公募によるもの
- (9) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認めた者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 委員会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、委員会を代表し、委員会の会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会長は、必要があると認めたときは、委員会の会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(検討部会)

第7条 増進計画の推進と進行管理に関し、必要な調査及び検討を行うため、委員会に検討部会を置くことができる。

2 検討部会は、部会長及び部員をもって組織する。

3 部会長は健康部健康推進課長をもって充て、部員は別表に掲げる課の課長が当該課に所属する職員のうちから指名する者をもって充てる。

4 検討部会の会議は、部会長が必要に応じて招集し、部会長がその議長となる。

5 部会長は、必要があると認めたときは、検討部会の会議に部員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(アドバイザー)

第8条 地域の特性を事業内容に反映させるため、委員会に健康増進に関し専門的な知識を有する者をアドバイザーとして置くものとする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、健康部健康推進課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行月日)

1 この告示は、平成19年4月1日から施行する。

(最初の委員の任期)

2 この告示の施行後最初に委嘱する委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、委嘱の日から平成21年3月31日までとする。

(最初の会議の招集)

3 委員が委嘱された後、最初に招集すべき委員会の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず市長が招集する。

附 則 (平成20年3月31日告示第91号)

この告示は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年7月30日告示第172号)

この告示は、平成22年8月1日から施行する。

別表 (第7条関係)

企画部市民協働推進課、健康部保険年金課、福祉部福祉総務課、同部子育て支援課、産業部商工観光課、教育委員会学校教育課、同委員会生涯学習課、同委員会体育振興課

資料3 石巻市健康増進計画推進委員名簿

No.	区分	委員名	団体名	備考
1	学識経験を有する者及び 保健医療に携わる者	佐藤 清 壽	石巻市医師会	◎
2		成田 満 義	桃生郡医師会	
3		鈴木 徹	石巻歯科医師会	
4		佐藤 桂 子	石巻薬剤師会	
5	福祉業務に携わる者	工藤 雅 弘	石巻市社会福祉協議会	
6	健康に関する 各種団体に所属する者	伊藤 いな子	石巻市保健推進員	
7		佐藤 清 子	石巻市食生活改善推進員連絡協議会	
8		大橋 巳津子	社会福祉法人なかよし会	
9		伊藤 和 男	特定非営利活動法人石巻市体育協会	
10	関係行政機関の職員	奥田 光 崇	宮城県東部保健福祉事務所	○
11	学校保健に携る者	梅津 可奈子	石巻地区学校保健会	
12	事業所等産業保健に 携る者	安倍 広 美	いしのまき農業協同組合	
13		渥美 武 義	宮城県漁業協同組合石巻総合支所	
14		千葉 孝	石巻商工会議所	
15	保健医療福祉に 関心を有する者（健康増進 計画策定時一般公募）	勝又 秀 幸		
16		永沼 くに子		
17	市長が必要と認めた者	佐々木 裕子	アドバイザー (仙台白百合女子大学人間学部健康栄養学科)	
18		長 純 一	病院局開成仮診療所	

※ ◎は会長、○は副会長

※ 任期：委嘱の日から平成26年6月30日まで

資料4 石巻市の現状分析資料

(1) 石巻市民健康調査

調査の目的	石巻市では、市民の主体的な健康づくりを支援するために、平成19年度から平成28年度までの10年間を計画期間とする「石巻市健康増進計画」を策定し、この計画に基づき様々な取組を進めている。この度、計画の中間見直しにあたって、東日本大震災後の市民の健康づくりに関する意識や、食生活、運動等に関する実態を把握し、計画づくりに資することを目的として実施した。									
調査対象	20歳から64歳までの市民（住民基本台帳による無作為抽出）									
調査方法	郵送配布、郵送回収									
調査時期	平成24年（2012年）11月									
回収結果	発送数 2,400件 有効回収数 1,047件 有効回収率 43.6%									
	合計	石巻地区	河北地区	雄勝地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	その他 ^{※1}	無回答
	1,047(件)	718	81	10	130	49	15	21	22	1
	100.0(%)	68.6	7.7	1.0	12.4	4.7	1.4	2.0	2.1	0.1
	※1「その他」の場合→「県内」6件(0.6%)、「県外」1件(0.1%)、「無回答」15件(1.4%) ※問4回答結果より									
調査項目	◇食生活について ◇食を取り巻く環境について ◇運動、身体のことについて ◇喫煙について ◇飲酒について ◇心の健康について ◇歯の健康について ◇子育て支援について									

※集計は小数点以下第2位を四捨五入している。

従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

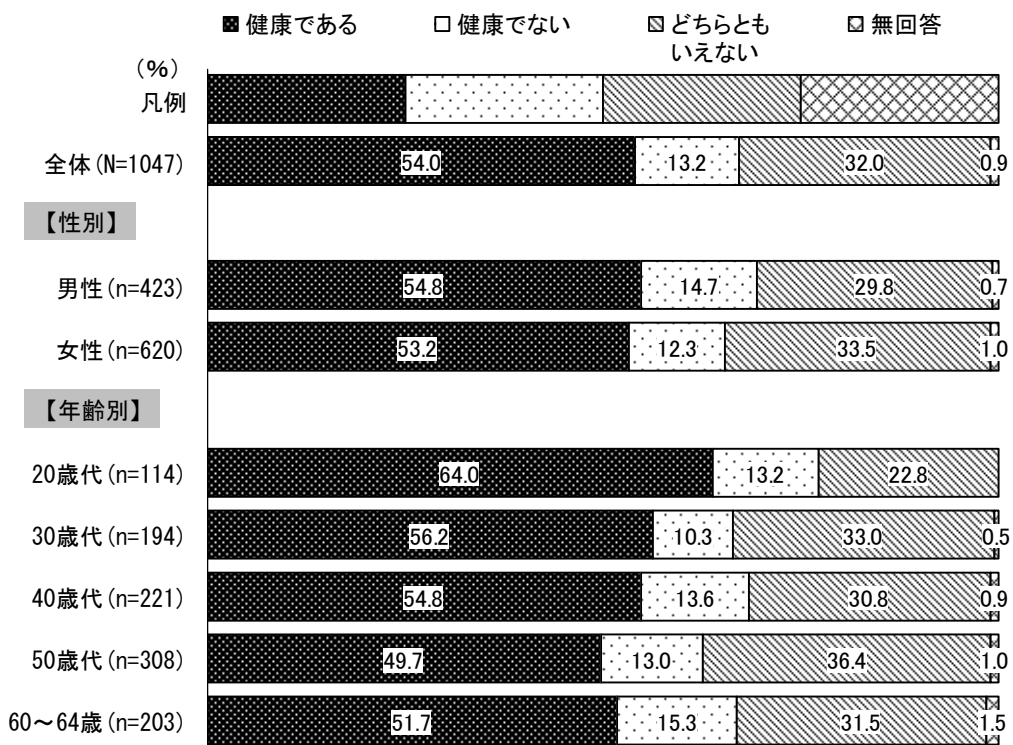
石巻市民健康調査結果抜粋

健康意識

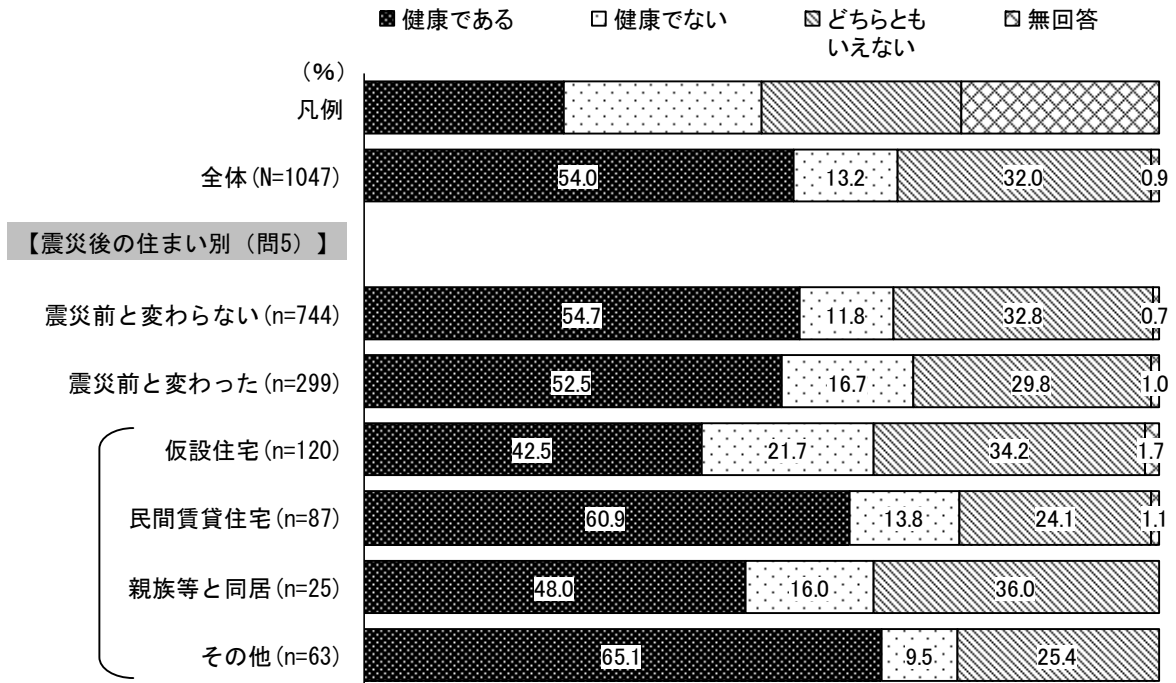
あなたは、自分が健康だと思いますか。

健康状態については、「健康である」の割合が 54.0%と過半数を占め、「健康でない」は 13.2%、「どちらともいえない」は 32.0%であった。

性別では大きな差は目立たないが、年齢別では若い年齢層ほど「健康である」割合も高い傾向にある。



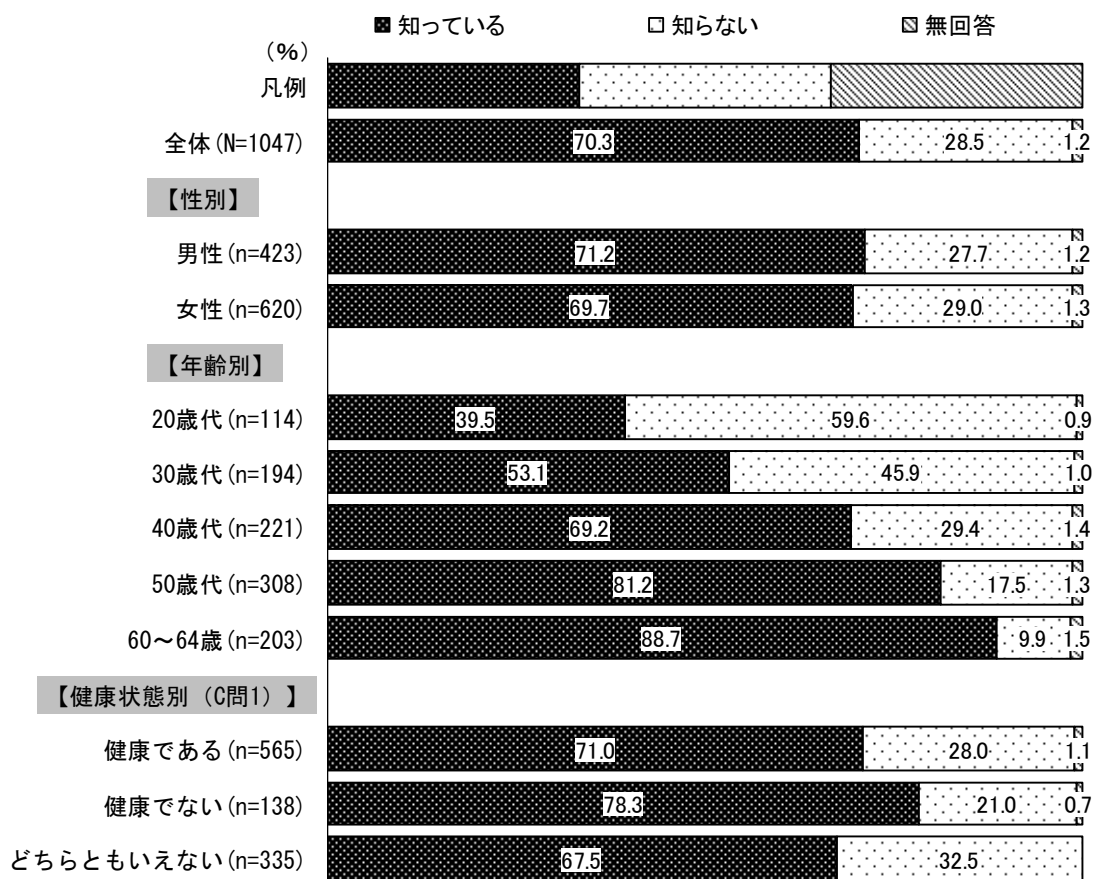
震災後の住まい別で見ると、震災前と変わらない層と、変わった層では大きな差は目立たないが、変わった層のうち、仮設住宅に変わった層において「健康でない」割合が、他の層を上回っている。



■ 血圧の把握

普段の自分の血圧の値を知っていますか。

自分の血圧の認知状況については、「知っている」の割合が70.3%となっている。性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、年齢が上がるほど「知っている」割合も高くなる傾向にあり、特に20歳代と60～64歳では大きな差がみられる。健康状態別では、健康でない層において「知っている」の割合がやや高くなっている。



■体重の把握

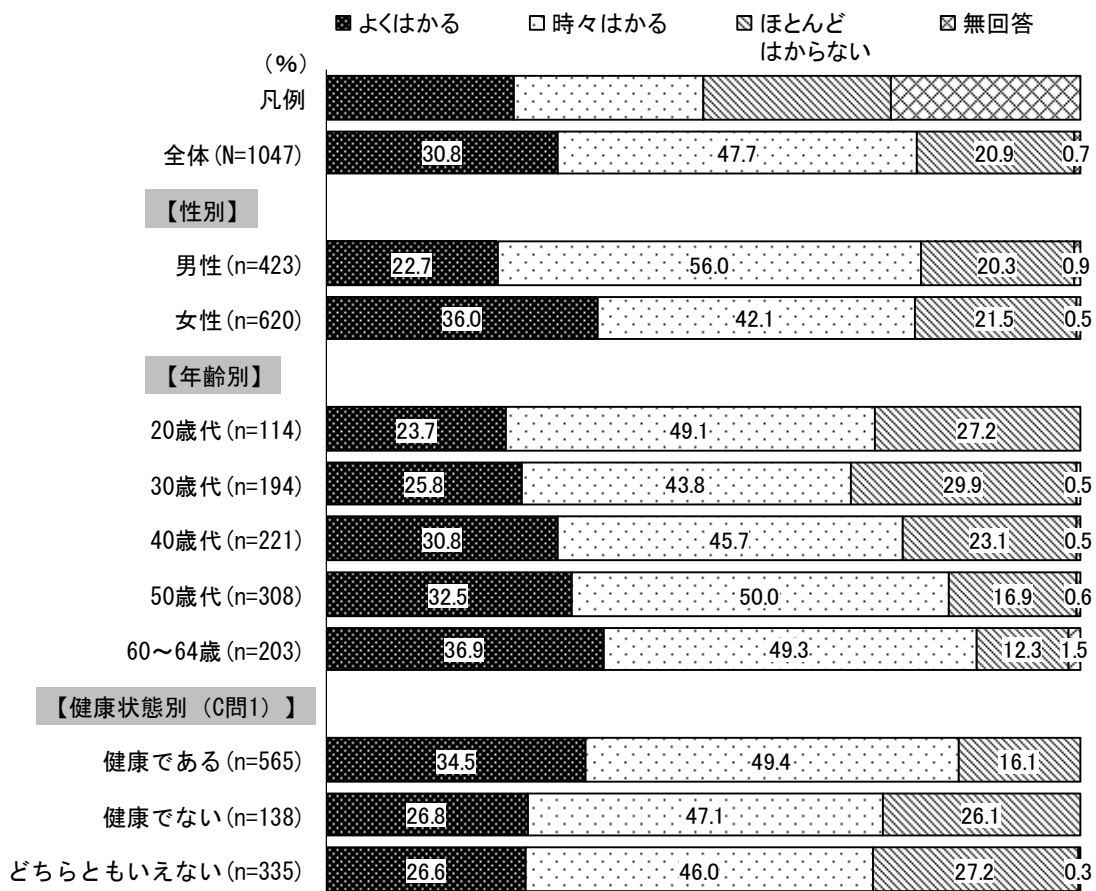
自分の体重をはかりますか。

体重の計測については、「よくはかる」が30.8%、「時々はかる」が47.7%で、合計78.5%が、ふだん計測すると回答している。「ほとんどはからない」は20.9%であった。

性別では、男性より女性で「よくはかる」の割合が高くなっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「よくはかる」割合が高い傾向にある。

健康状態別では、健康である層ほど「よくはかる」割合が高い傾向にある。



■ BMI

☆BMI (Body Mass Index) とは
 体重(kg)÷身長(m)²で表されます。
 肥満の判定に用いられるものです。BMI22 が最も疾病が少ないといわれています。
 (例) 身長 170cm、体重 70kg の場合の BMI は $70 \div 1.7^2 = 24.22$ となります。

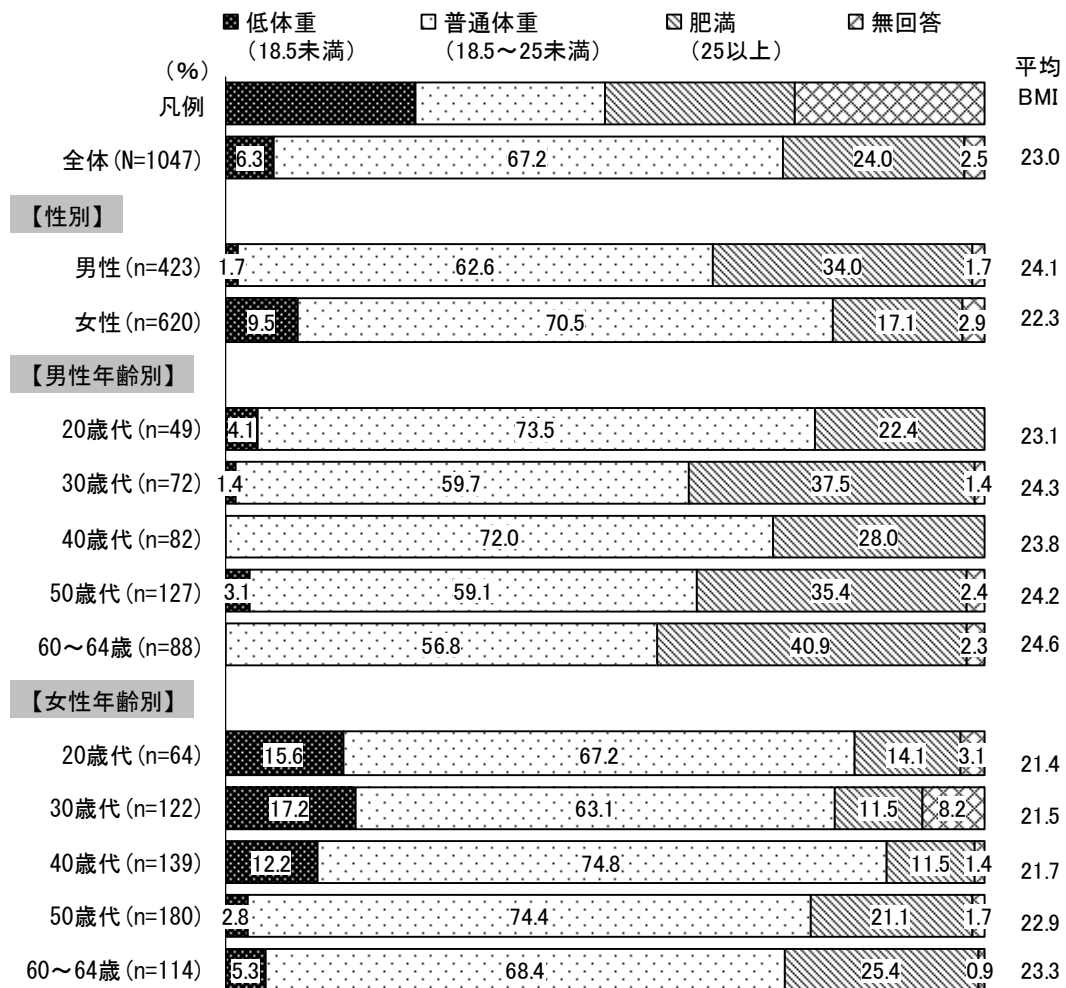
【判定】

BMI	判定
18.5以下	やせ
18.5以上25.0未満	正常
25.0以上	肥満

BMI 値は、全体では「普通体重 (18.5~25 未満)」が 67.2% で最も高く、平均 BMI 値は 23.0 となっている。

平均 BMI 値を性別で見ると、男性で 24.1、女性で 22.3 となっている。

性・年齢別で見ると、男性は 30 歳代、50 歳代及び 60~64 歳で「肥満 (25 以上)」の割合が高く、女性は 20~40 歳代で「低体重 (18.5 未満)」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



食生活

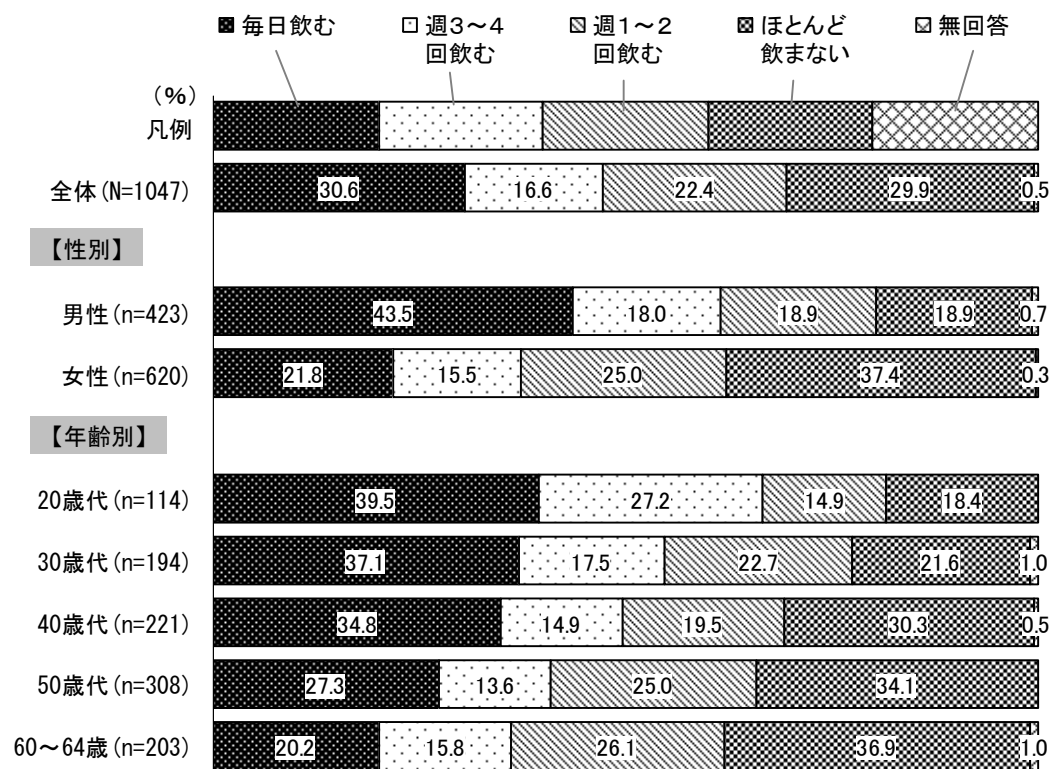
■ 甘い飲み物の摂取

水・お茶類以外の甘い飲み物（たとえば清涼飲料水、スポーツドリンク、缶コーヒー、栄養ドリンクなど）を飲みますか。

甘い飲み物の飲用状況については、「毎日飲む」の割合が30.6%と最も高く、次いで「週1～2回飲む」(22.4%)、「週3～4回飲む」(16.6%)などとなっている。なお、「ほとんど飲まない」は約3割みられた。

性別では、男性は女性に比べ「毎日飲む」割合が高く、女性は「ほとんど飲まない」が男性を大きく上回っている。

年齢別では、若い年齢層ほど「毎日飲む」の割合が高い傾向にあり、年齢が上がるほど「ほとんど飲まない」が増える傾向にある。



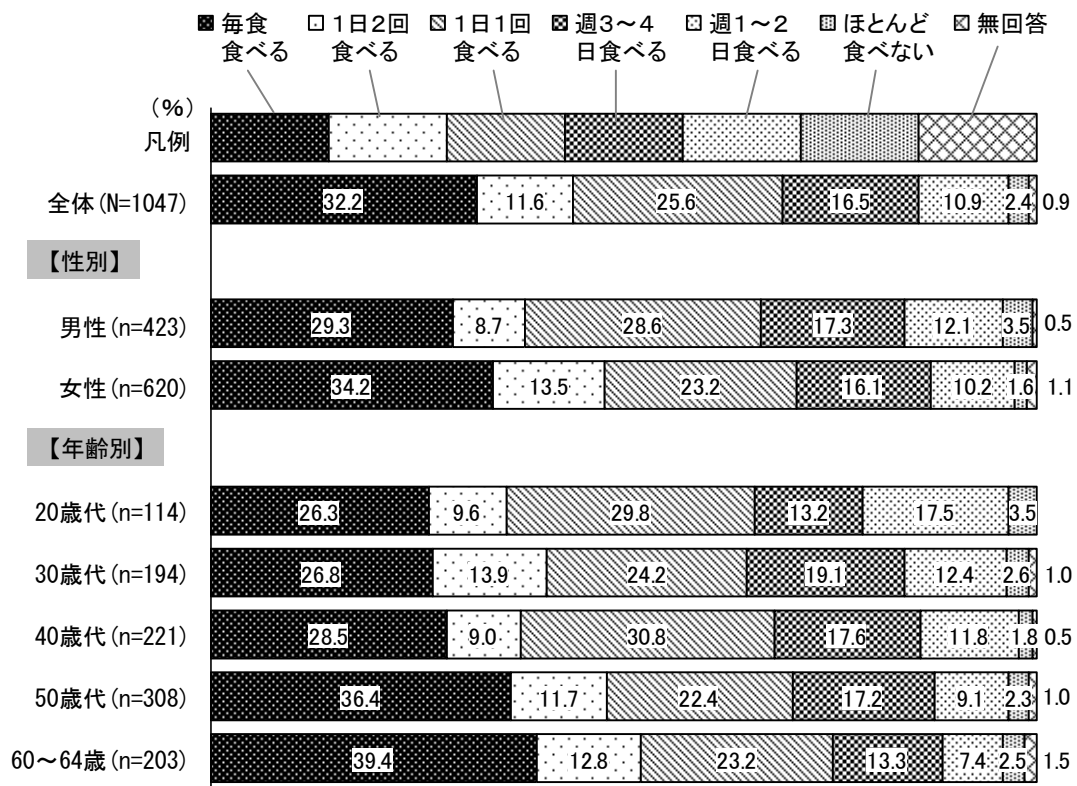
■野菜や海藻の摂取

野菜や海藻のおかずを食べますか。

野菜や海藻のおかず摂取状況については、「毎食食べる」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「1日1回食べる」(25.6%)、「週3～4日食べる」(16.5%)、「1日2回食べる」(11.6%)などとなっており、「ほとんど食べない」は2.4%であった。

性別では、男性よりも女性の摂取頻度が多い傾向にある。

年齢別では、年齢が上がるほど摂取頻度も増える傾向にあり、特に 50 歳以上の年齢層では「毎食食べる」の割合が3割以上となっている。



■塩分の摂取

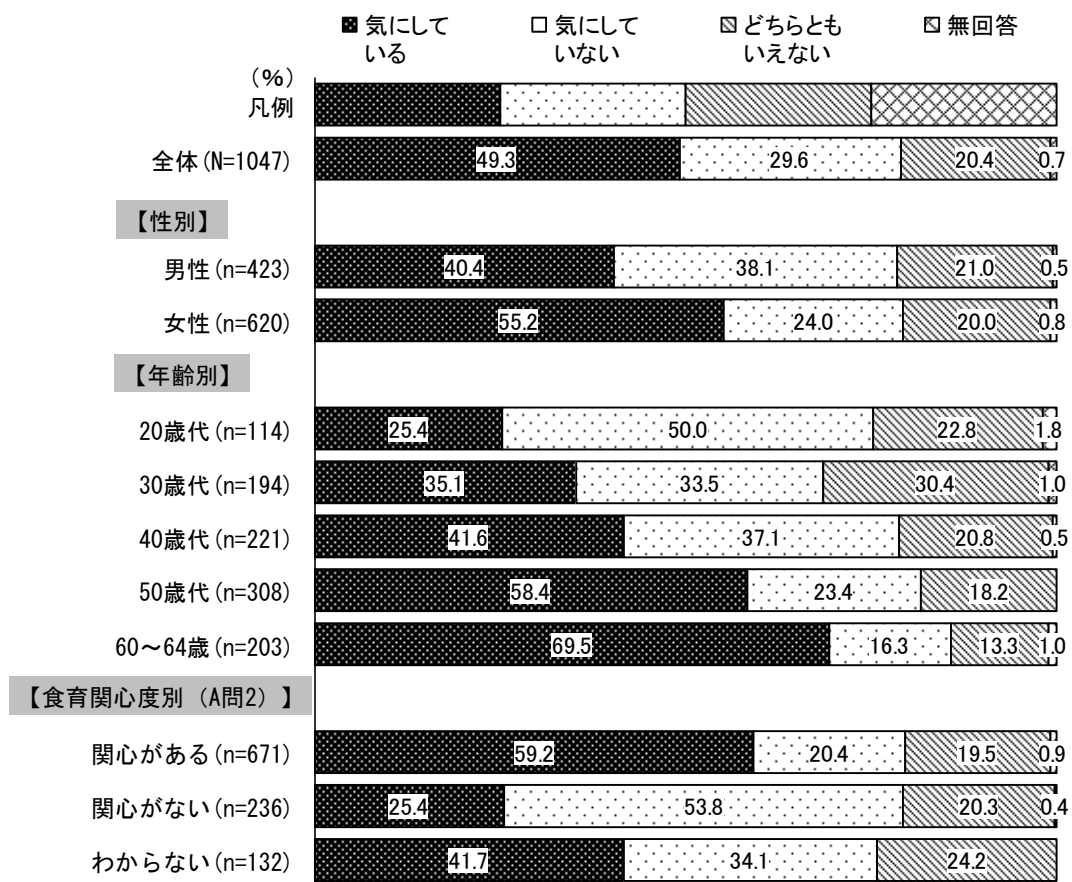
塩分のことを気にして食事をしていますか。

塩分への気遣いについては、「気にしている」の割合が 49.3%と半数近くを占め最も高くなっている。「気にしていない」は約3割、「どちらともいえない」は2割であった。

性別では、男性に比べ女性で「気にしている」の割合が高くなっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「気にしている」の割合も高くなる傾向にあり、特に 50歳以上の年齢層では半数以上を占めている。

食育関心度別でみると、食育に関心がある層ほど「気にしている」の割合も高い傾向にあり、関心がない層を大きく上回っている。



※食育関心度別 (A問2)

「関心がある」→「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計

「関心がない」→「どちらかといえば関心がない」「関心がない」の合計

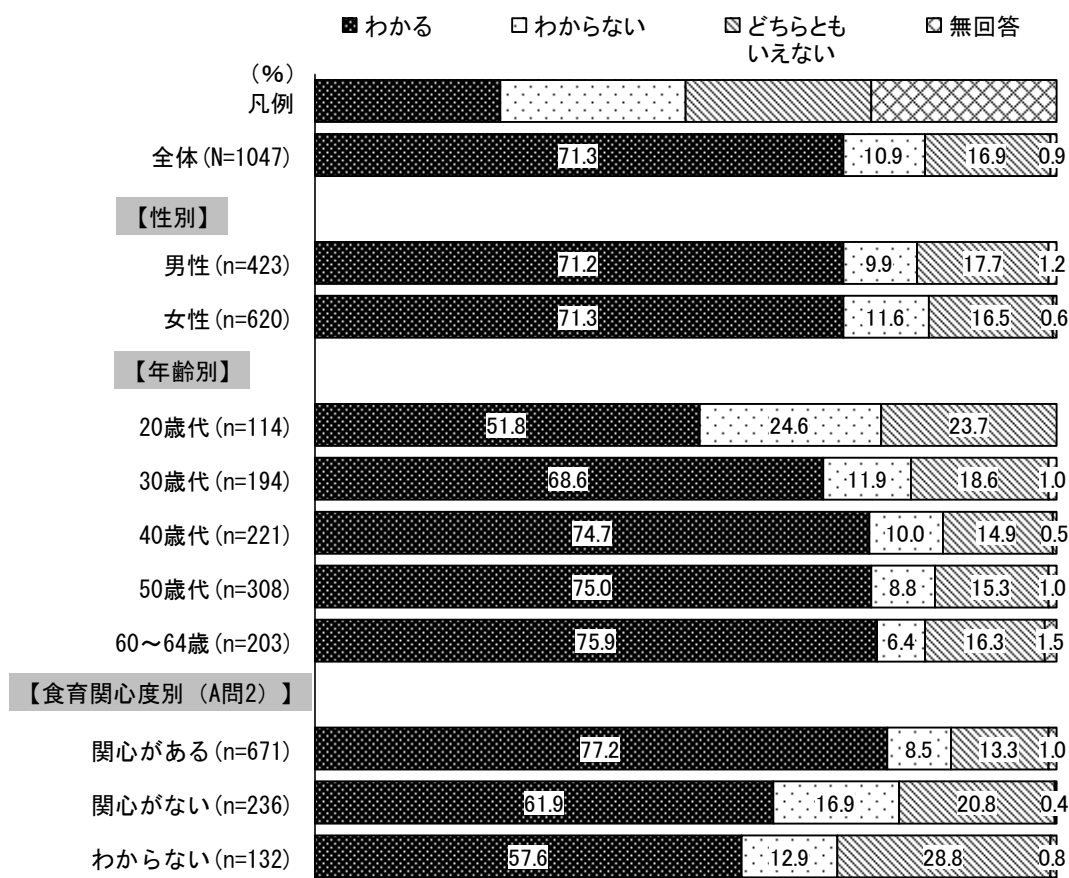
■ 食事の適量

自分の食事の適量がわかりますか。

適量な食事の認識については、「わかる」が約7割を占め最も高く、「わからない」が10.9%となっている。なお「どちらともいえない」は16.9%みられた。

性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、20歳代において「わからない」及び「どちらともいえない」の割合が、他の年齢層を上回っている。

食育関心度別でみると、「関心がある」層で「わかる」割合が8割近くを占めている。



※食育関心度別 (A問2)

「関心がある」→「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計

「関心がない」→「どちらかといえば関心がない」「関心がない」の合計

運動・身体

■意識的な運動

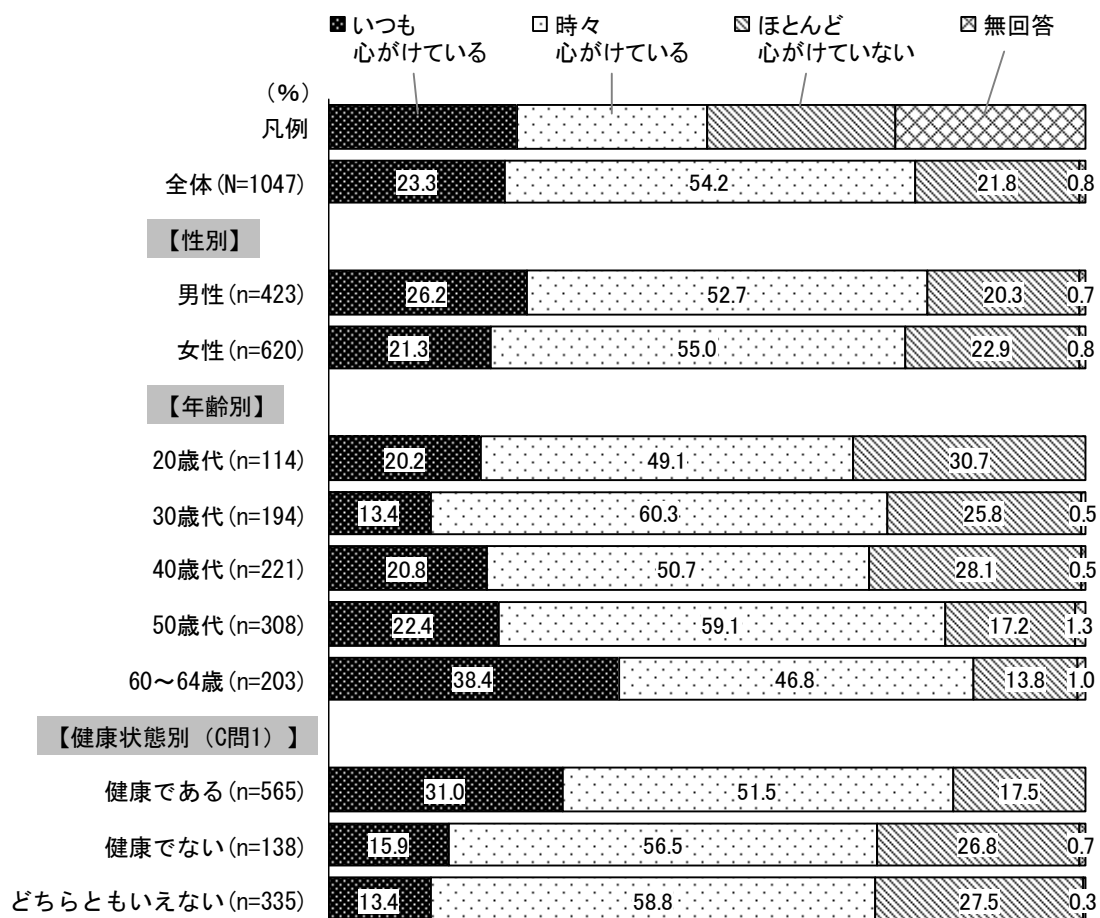
意識的に体を動かすように心がけていますか。

意識的に体を動かすことについては、「いつも心がけている」が23.3%、「時々心がけている」が54.2%で、合計77.5%が『心がけている』と回答している。一方、「ほとんど心がけていない」は21.8%であった。

性別では、男性で「いつも心がけている」割合が女性をやや上回るが、大きな差は目立たない。

年齢別では、年齢が上がるほど「いつも心がけている」の割合も高くなる傾向にある。

健康状態別でみると、健康である層ほど「いつも心がけている」の割合も高くなっている。



■ 散歩、体操、スポーツ

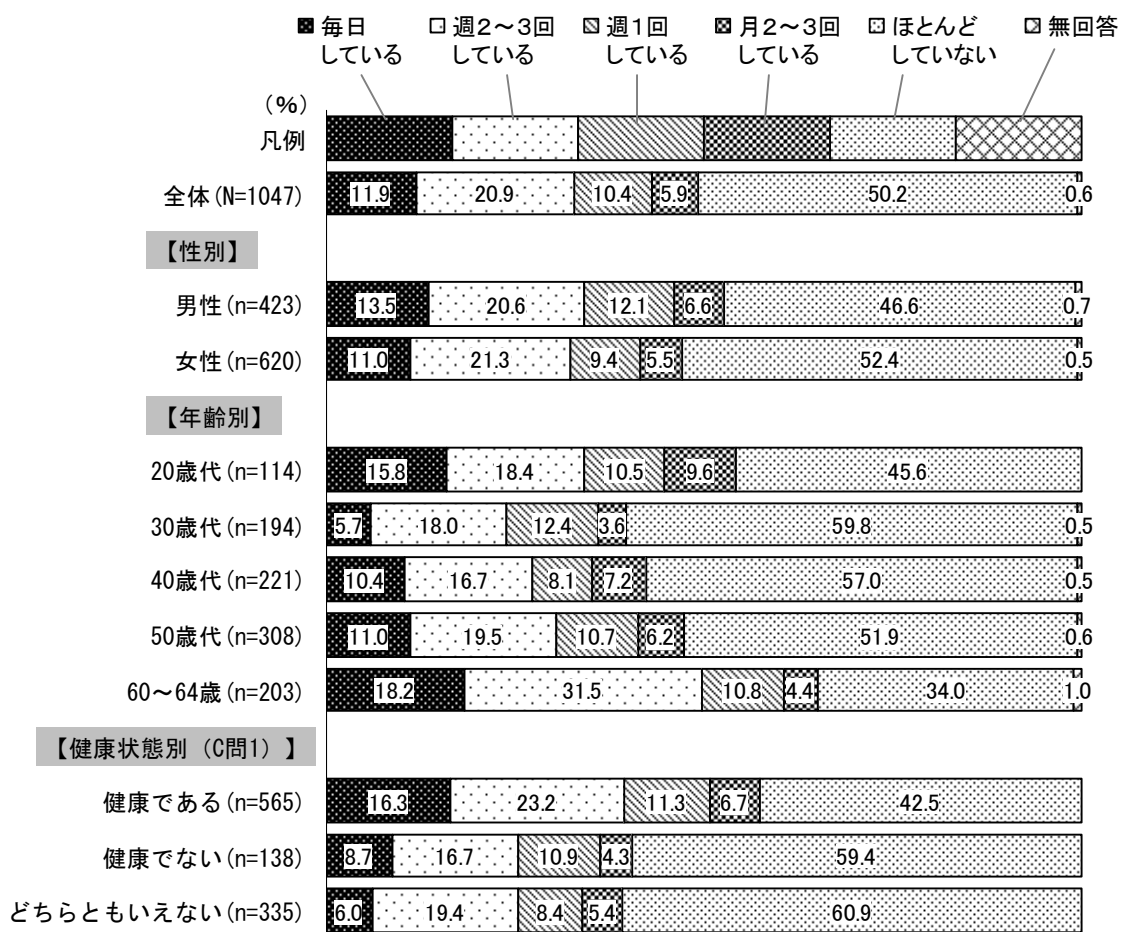
運動（散歩、体操、スポーツなど）はどのくらいしていますか。

運動（散歩、体操、スポーツなど）の頻度については、「ほとんどしていない」の割合が半数を占め最も高いが、「毎日している」は11.9%、「週2～3回している」は20.9%、「週1回している」は10.4%などとなっており、『している』割合は合計で49.1%であり、している層としていない層でほぼ二分している。

性別では、男性は女性に比べ『している（合計）』割合がやや高くなっている。

年齢別では、20歳代及び60～64歳で『している（合計）』割合が高くなっている。

健康状態別では、健康である層ほど、運動を『している（合計）』割合も高い傾向にある。



たばこ

■喫煙の状況

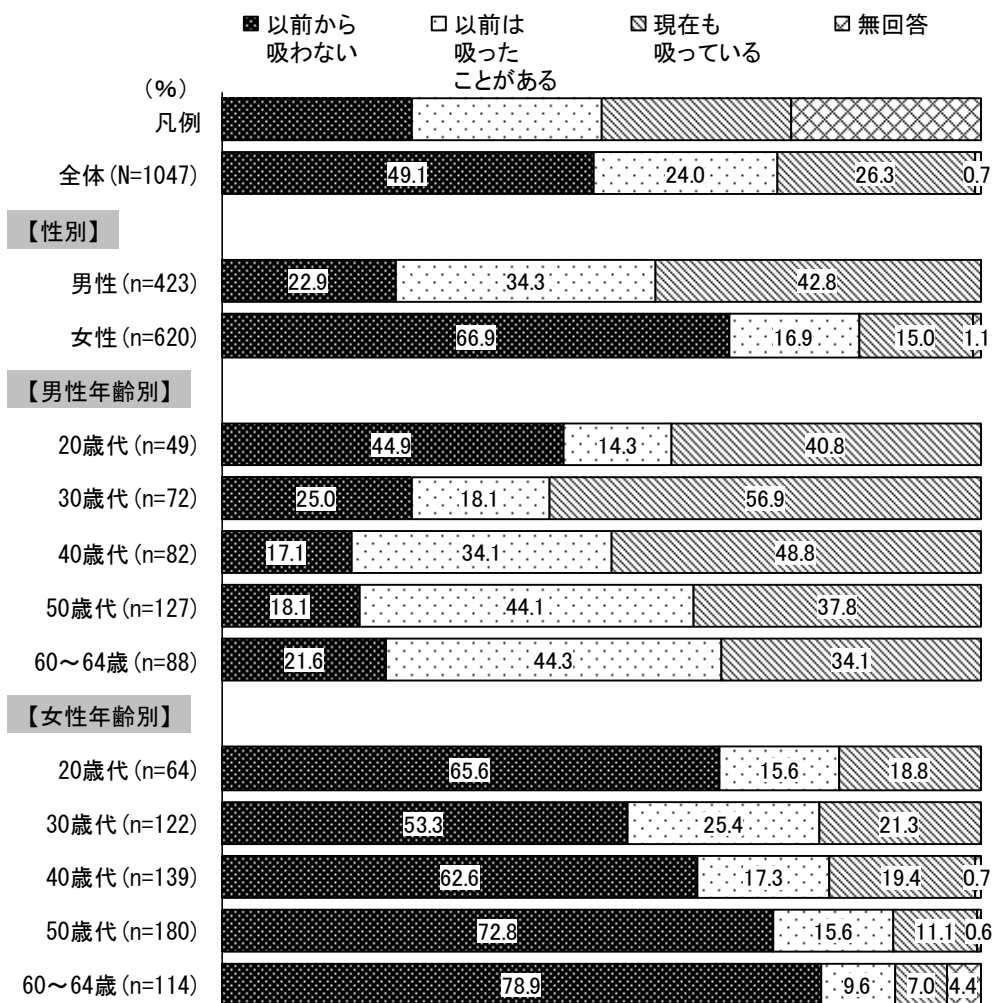
あなたは、たばこを吸っていますか。または今までに吸ったことがありますか。

喫煙状況については、「以前から吸わない」の割合が49.1%と最も高くなっている。「以前は吸ったことがある」は24.0%、「現在も吸っている」は26.3%で、合計50.3%が喫煙（経験）者である。

性別では、男性の場合「現在も吸っている」の割合が4割を占め女性を大きく上回っている。女性は「以前から吸わない」の割合が7割近くを占めている。

性・年齢別でみると、男性の場合、30歳代で「現在も吸っている」の割合が最も高く、年齢が上がるほど「以前は吸ったことがある」の割合が増える傾向にある。20歳代では4割以上が「以前から吸わない」と回答している。

女性の場合、20～40歳代の年齢層において「以前は吸ったことがある」あるいは「現在も吸っている」割合が、他の年齢層に比べ高い傾向にあり、特に30歳代で高くなっている。



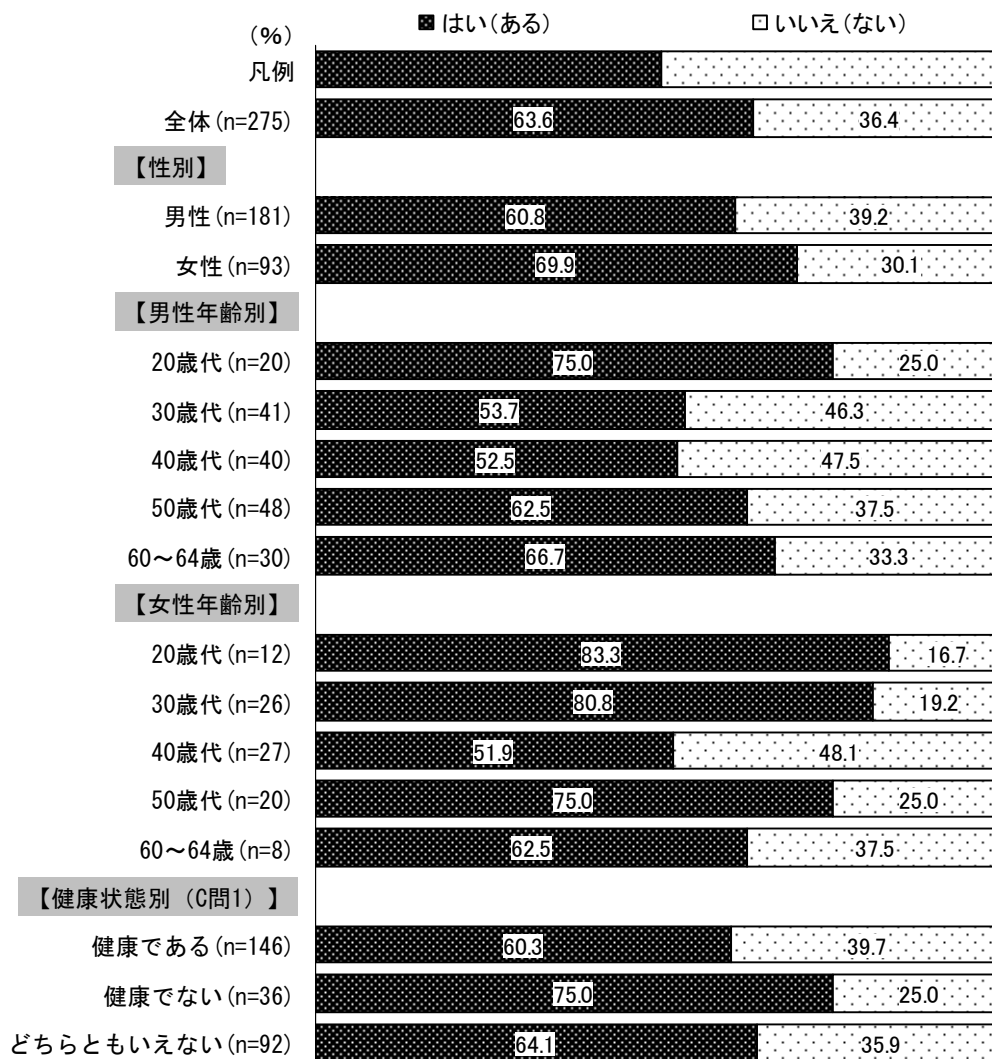
■禁煙の経験・意向

たばこをやめようとしたこと、やめようと思ったことがありますか。
(現在も吸っている方のみ)

禁煙への取り組み経験については、「はい(ある)」の割合が63.6%であった。

「はい(ある)」の割合は、性別では女性、性・年齢別では、男性の20歳代や女性の20～30歳代などにおいて高くなっている。

健康状態別では、健康でない層において「はい(ある)」の割合が高くなっている。



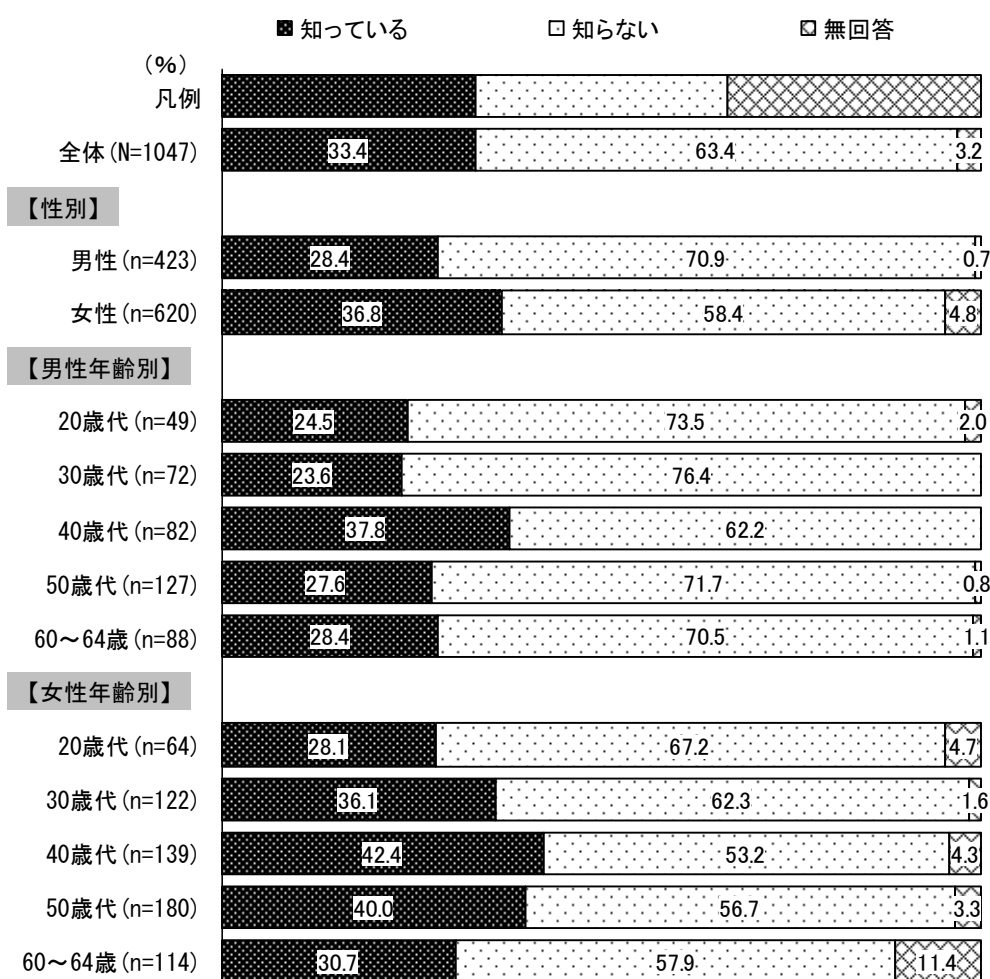
注: 女性 60～64歳は該当件数(n)が少ないため、傾向値として参照。

■慢性閉塞性肺疾患（COPD）の認知度

慢性閉塞性肺疾患（COPD）について知っていますか。

慢性閉塞性肺疾患（COPD）の認知については、「知っている」の割合は33.4%となっている。

性別では、「知っている」の割合は女性で高く、性・年齢別では、女性の場合30～50歳代において高くなっており、また、男女ともに40歳代で最も高くなっている。



お酒

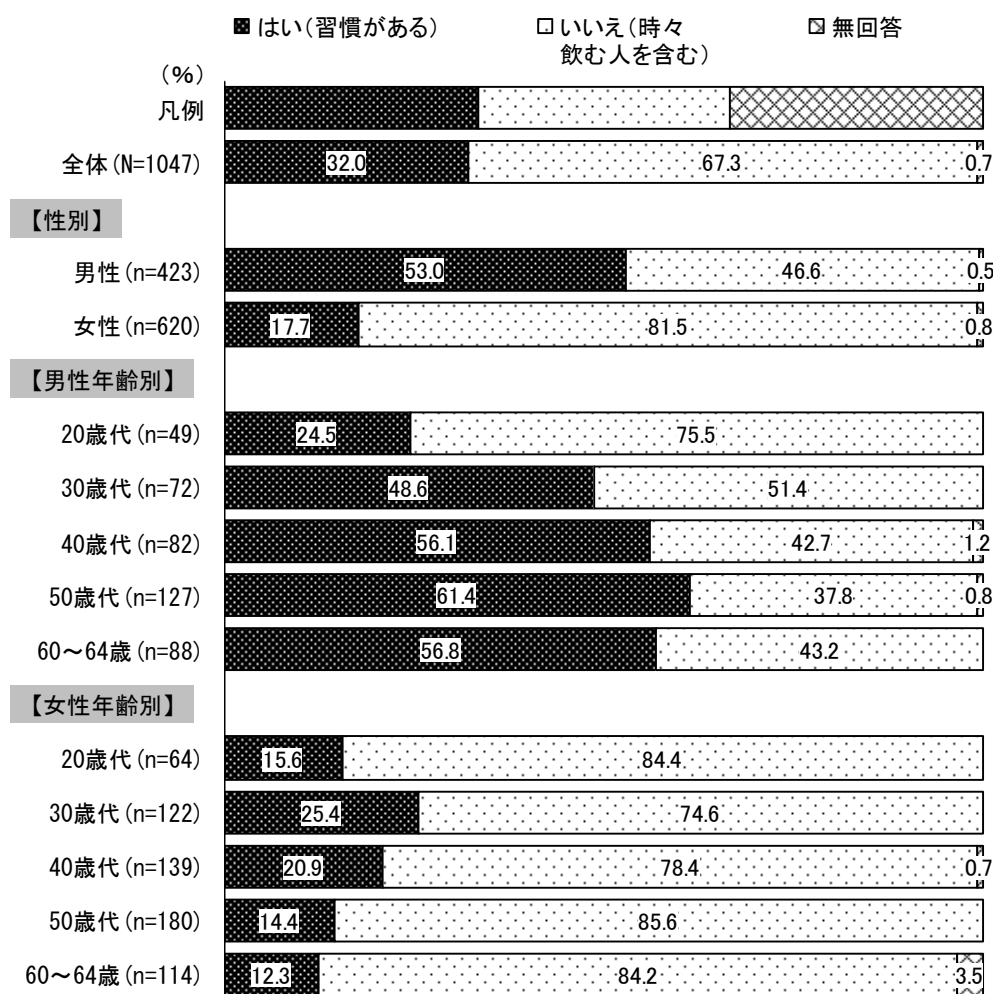
■ 飲酒の習慣

現在、飲酒の習慣がありますか。

飲酒の習慣については、「はい（習慣がある）」の割合は 32.0%、「いいえ（時々飲む人を含む）」が 67.3%であった。

性別では、男性において「はい（習慣がある）」の割合が女性を大きく上回っている。

性・年齢別では、男性の場合 20 歳代では「いいえ（時々飲む人を含む）」が 7 割以上を占めるが、この他の年齢層では「はい（習慣がある）」の割合が高くなっている。女性の場合、30～40 歳代の年齢層において「はい（習慣がある）」の割合が、他の年齢層に比べ高くなっている。



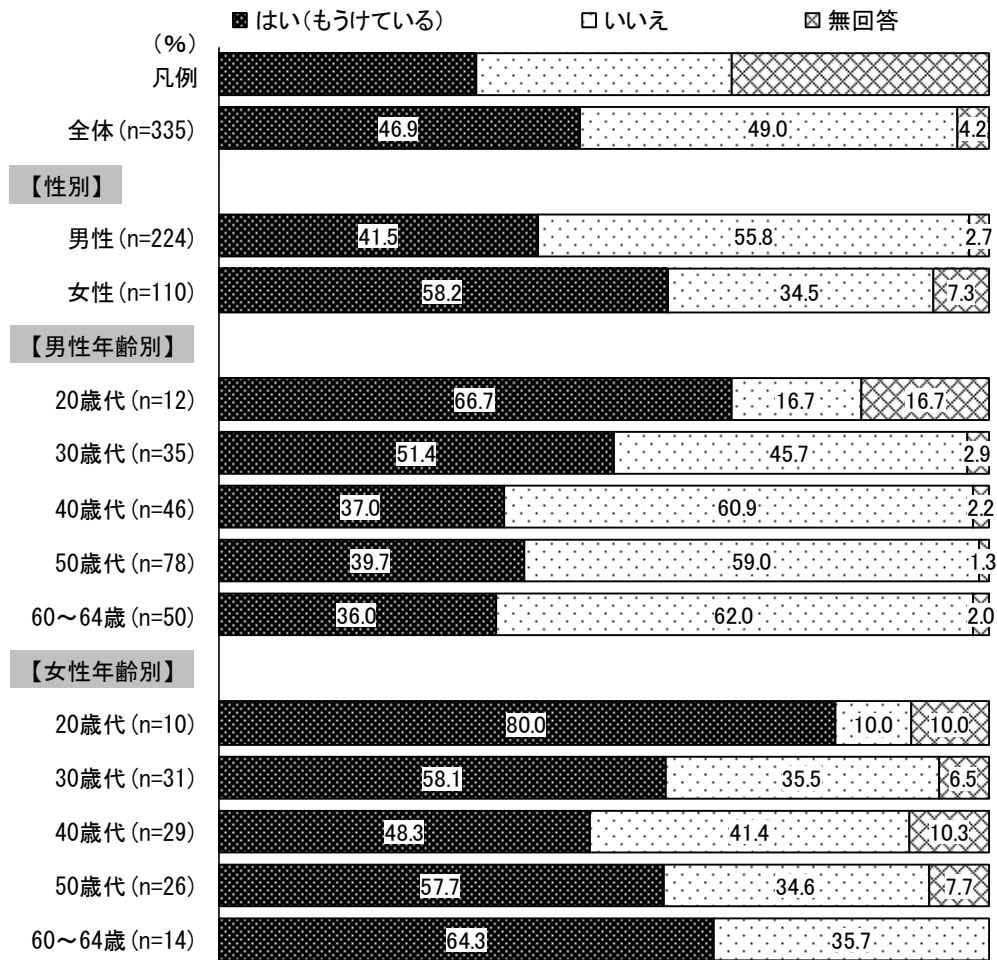
■ 休肝日の有無

休肝日（お酒を休む日）をもうけていますか。（飲酒の習慣がある方のみ）

休肝日については、「はい（もうけている）」の割合は46.9%である。

性別では、「はい（もうけている）」の割合は女性で高い。

性・年齢別では、男性の場合、若い年齢層ほど「はい（もうけている）」の割合が高い傾向にある。女性の場合は、40歳代で「いいえ」の割合が他の年齢層に比べ高くなっている。



注: 女性 20歳代は、該当件数(n)が少ないため、傾向値として参照。

心の健康

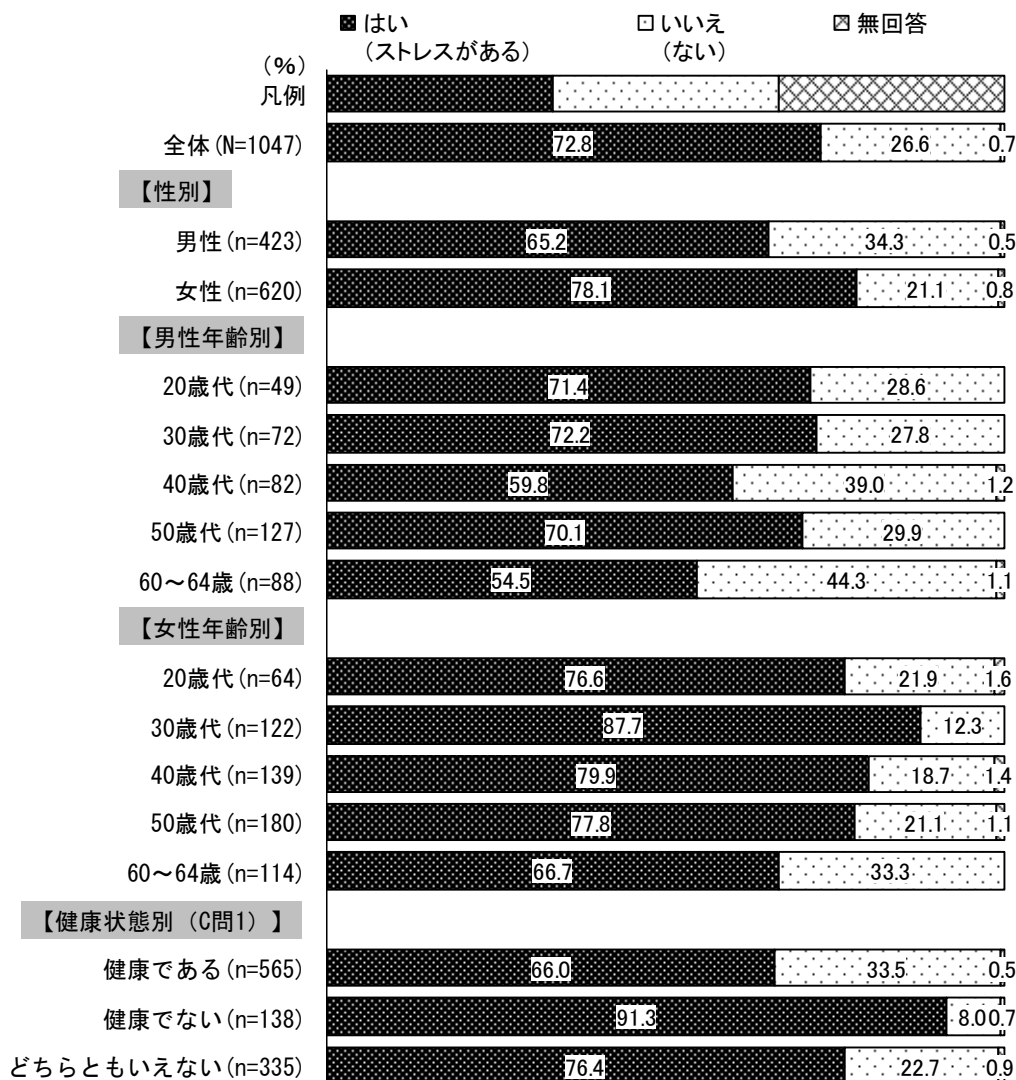
■ストレスの有無

現在、ストレスがありますか。

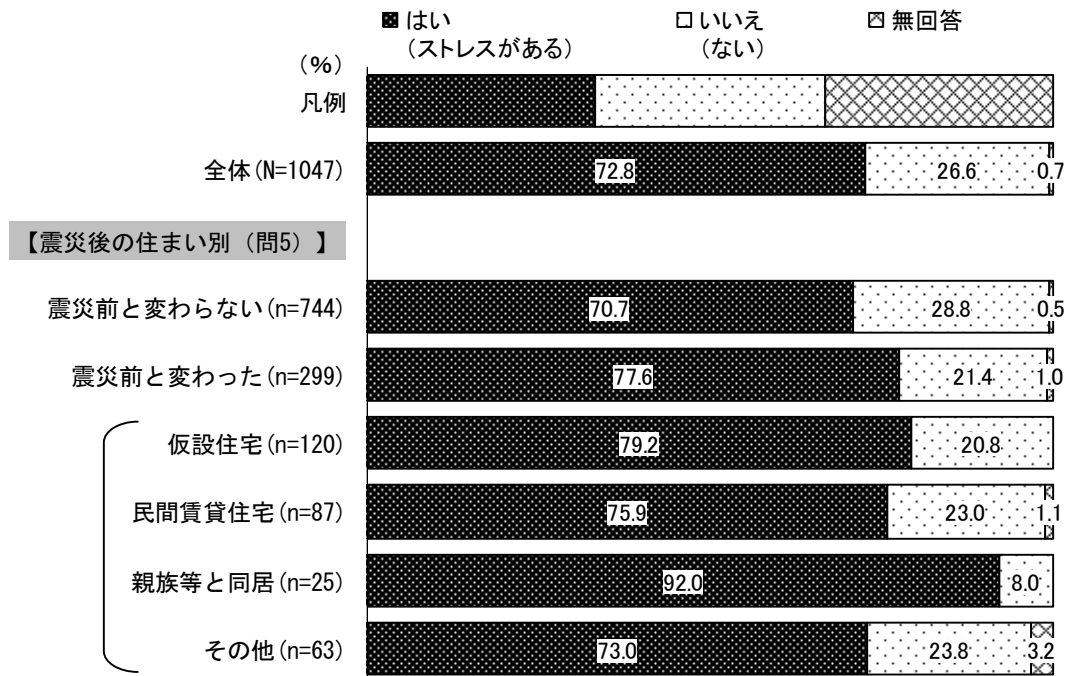
ストレスの有無については、「はい（ストレスがある）」の割合は72.8%となっている。性別では、男性より女性で「はい（ストレスがある）」の割合が高くなっている。

「はい（ストレスがある）」の割合を、性・年齢別でみると、男性の場合20～30歳代及び50歳代が高く、女性の場合は、20～50歳代の幅広い年齢層で7割を超えており、特に30歳代で9割近くを占めている。

健康状態別では、健康でない層ほど「はい（ストレスがある）」の割合が高くなっている。



さらに、震災後の住まい別でみると、「はい（ストレスがある）」の割合は、震災前と変わった場合の、親族等と同居している層で9割以上と高くなっている。



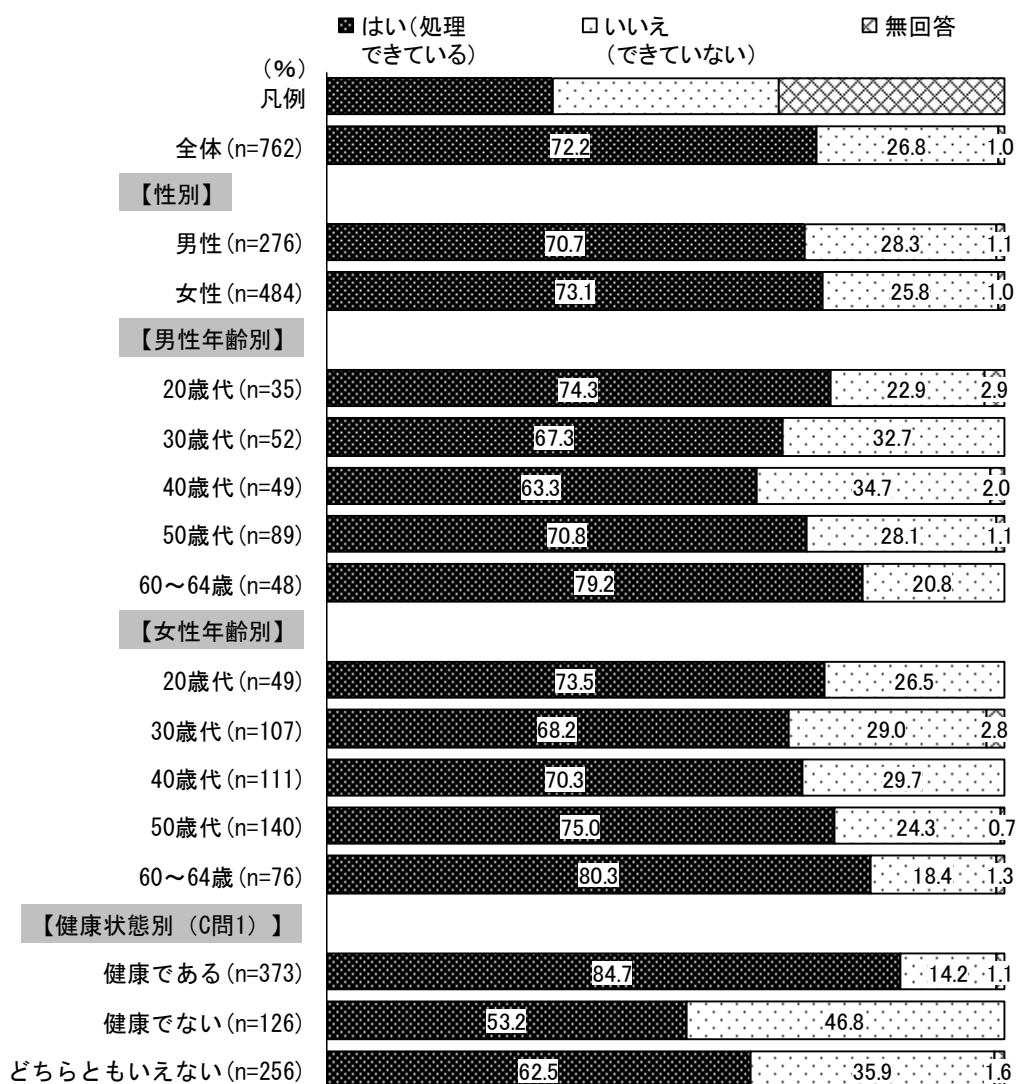
■ ストレスの処理方法

ストレスがあっても自分なりに処理できていますか。(ストレスを感じている方のみ)

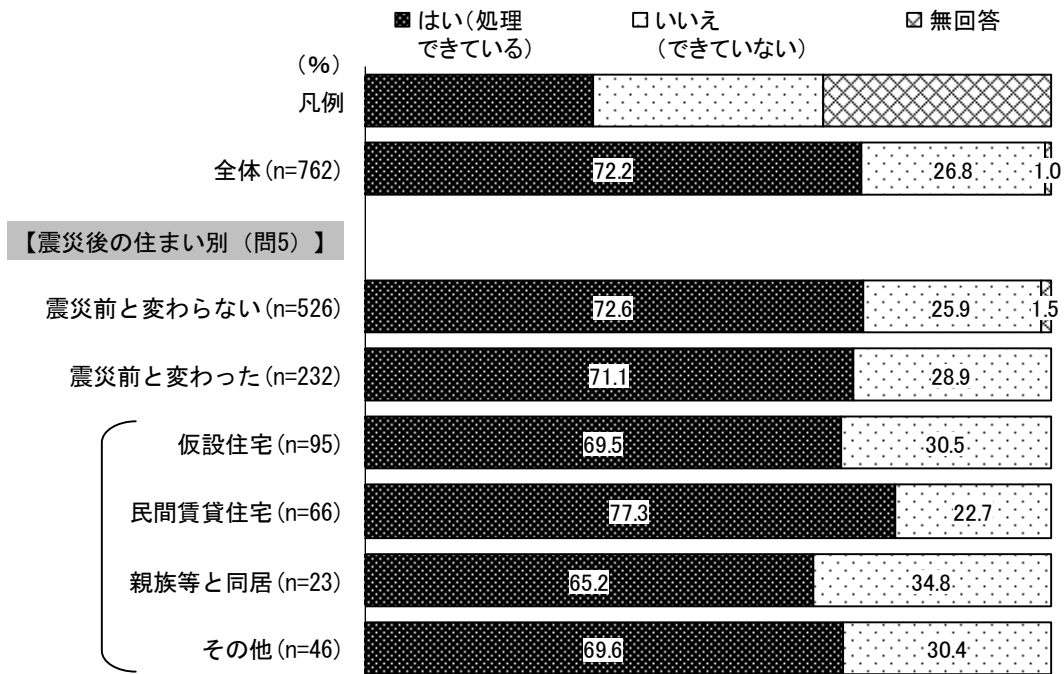
ストレスの処理については、「はい(処理できている)」の割合が72.2%を占めるものの、「いいえ(できていない)」は3割近くみられる。

性別では大きな差は目立たないが、性・年齢別では、男女ともに30～40歳代で「いいえ(できていない)」の割合が他の年齢層に比べ高くなっている。

健康状態別でみると、健康である層は8割以上が「はい(処理できている)」であるが、健康でない層では、半数近くが「いいえ(できていない)」と回答している。



さらに、震災後の住まい別でみると、震災前と変わった場合の、民間賃貸住宅の層で「はい(処理できている)」の割合が高くなっている。



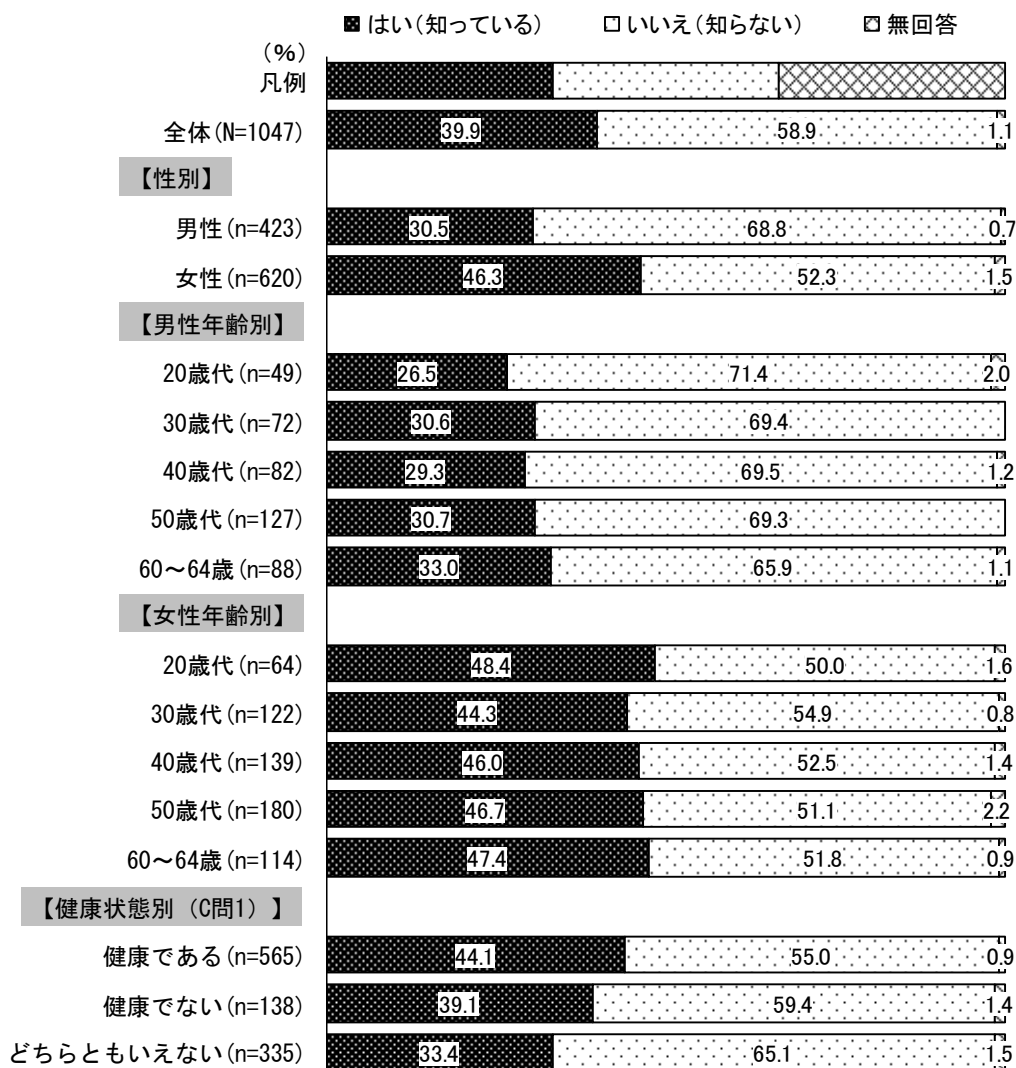
■ 専門機関の認知度①

心の悩みごとを相談できる専門機関を知っていますか。(すべての方)

心の悩みごと相談専門機関の認知については、「はい(知っている)」が約4割を占めるが、「いいえ(知らない)」は約6割となっている。

「はい(知っている)」の割合を性別で見ると、女性で高く、男性を大きく上回っている。性・年齢別で見ると、男性は各年齢層ともに3割前後、女性は各年齢層ともに4割台となっており、年齢差は目立たない。

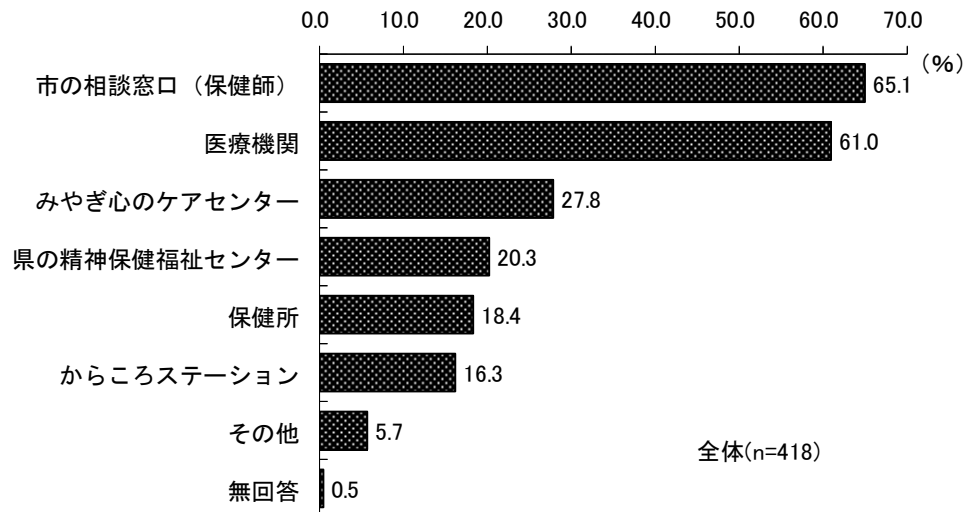
健康状態別で見ると、健康である層ほど「はい(知っている)」の割合が高くなっている。



■ 専門機関の認知度②

知っている専門機関すべてに○を付けて下さい。(専門機関を知っている方のみ)

知っている専門機関については、「市の相談窓口（保健師）」の割合が 65.1%と最も高く、ほぼ並んで「医療機関」が 61.0%で続いている。次いで「みやぎ心のケアセンター」(27.8%)、「県の精神保健福祉センター」(20.3%)、「保健所」(18.4%)の順となっている。

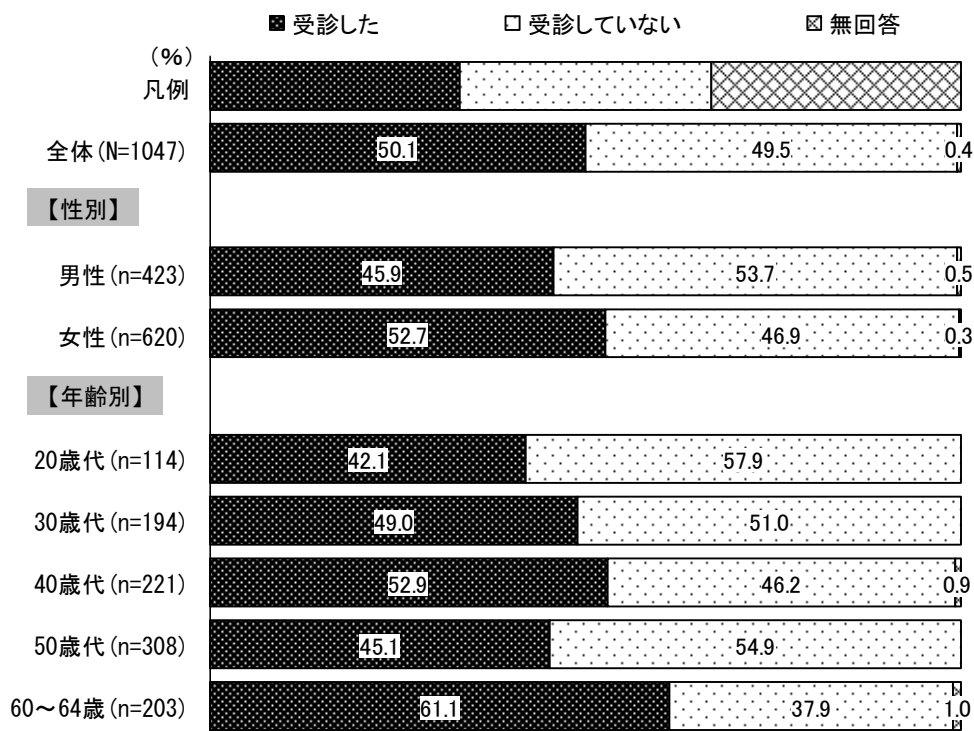


歯

■ 歯科医院の受診状況

あなたは、1年以内に歯科医院を受診しましたか。

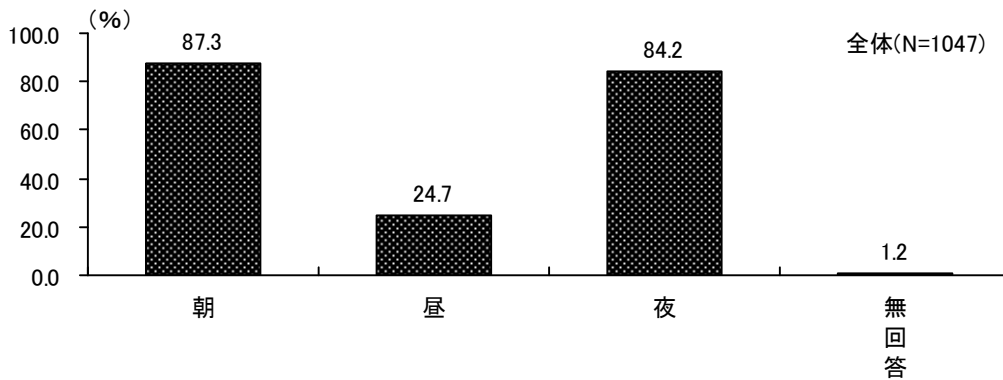
歯科受診有無については、「受診した」が約半数となっている。
性別では、「受診した」の割合は女性でやや高くなっている。
年齢別では、「受診した」の割合は60～64歳で6割以上と、他の年齢層に比べ最も高くなっている。



■ 歯磨きの時間（朝、昼、夜）

歯を磨くのはいつですか。

歯を磨く時間帯については、「朝」の割合が87.3%と最も高く、ほぼ並んで「夜」が84.2%となっている。「昼」は24.7%であった。



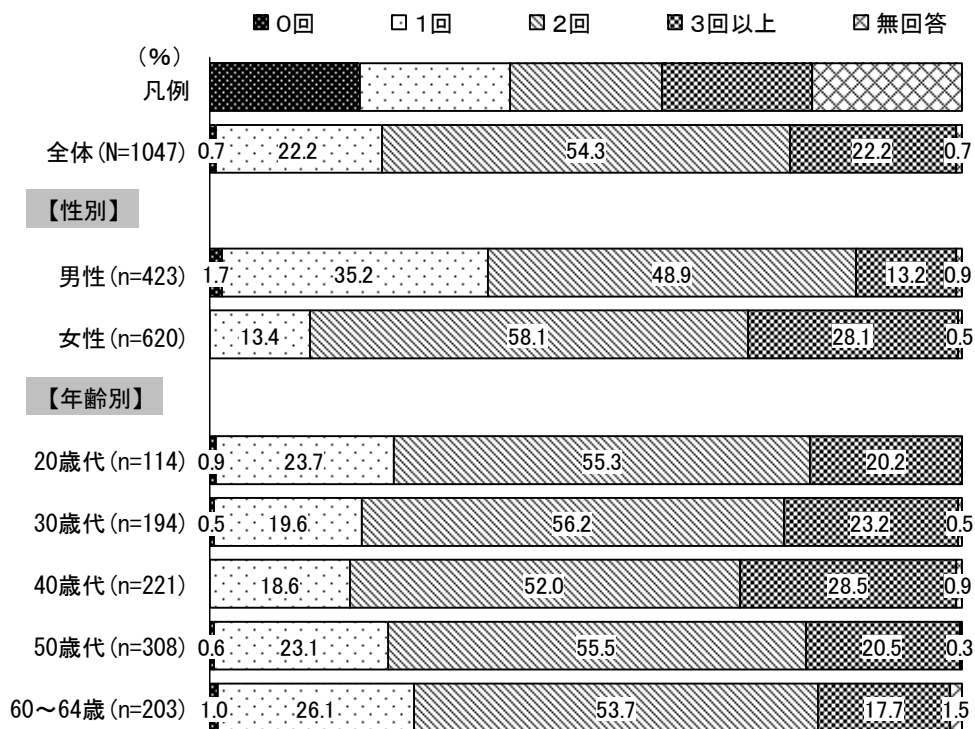
■ 歯磨きの回数

1日に何回歯を磨きますか。

1日の歯磨き回数については、「2回」の割合が54.3%と最も高く、「1回」及び「3回以上」が各22.2%で並んでいる。

性別では、男性は女性に比べ「1回」の割合が高く、女性は「3回以上」で男性を大きく上回っている。

年齢別では、40歳代で「3回以上」の割合がやや高いが、大きな差は目立たない。

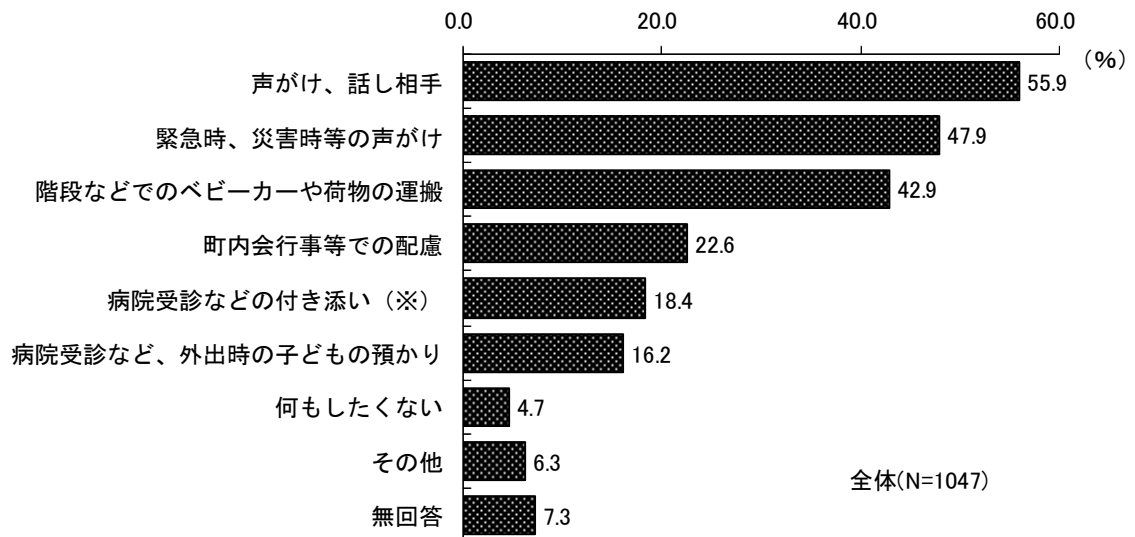


子育て支援

■協力できること

子育て中のお母さんや子どものいる家庭に対し、あなたが協力できることはどんなことですか。

協力できる子育て支援については、「声がけ、話し相手」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「緊急時、災害時等の声がけ」(47.9%)、「階段などでのベビーカーや荷物の運搬」(42.9%)、「町内会行事等での配慮」(22.6%)の順となっている。



年齢別で見ると、特に20歳代において「声がけ、話し相手」「緊急時、災害時等の声がけ」「階段などでのベビーカーや荷物の運搬」などの割合が、他の年齢層に比べ高くなっている。60～64歳では「町内会行事等での配慮」の割合が高くなっている。

【年齢別】

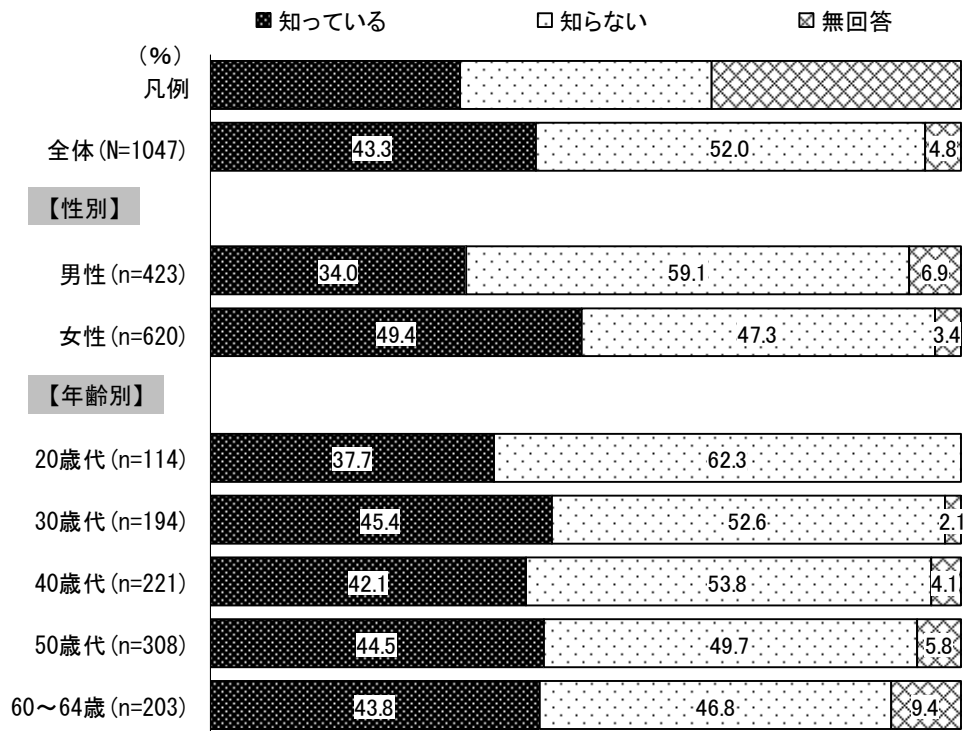
	声がけ、話し相手	緊急時、災害時等の声がけ	階段などでのベビーカーや荷物の運搬	町内会行事等での配慮	病院受診などの付き添い(※)	病院受診など、外出時の子どもの預かり	何もしたくない	その他
全体(N=1047)	55.9	47.9	42.9	22.6	18.4	16.2	4.7	6.3
20歳代(n=114)	65.8	50.9	60.5	14.9	28.1	22.8	7.0	7.9
30歳代(n=194)	56.2	41.8	43.3	24.2	17.5	17.0	5.2	8.2
40歳代(n=221)	53.8	46.6	44.3	20.4	14.5	8.6	7.2	4.1
50歳代(n=308)	50.6	50.6	39.9	23.4	16.9	15.3	2.9	6.2
60～64歳(n=203)	61.6	49.8	36.5	27.6	20.7	21.7	2.5	6.4

※兄弟姉妹がいる場合など、一緒に行く

■ 児童虐待相談窓口の認知度①

児童虐待についての相談窓口を知っていますか。

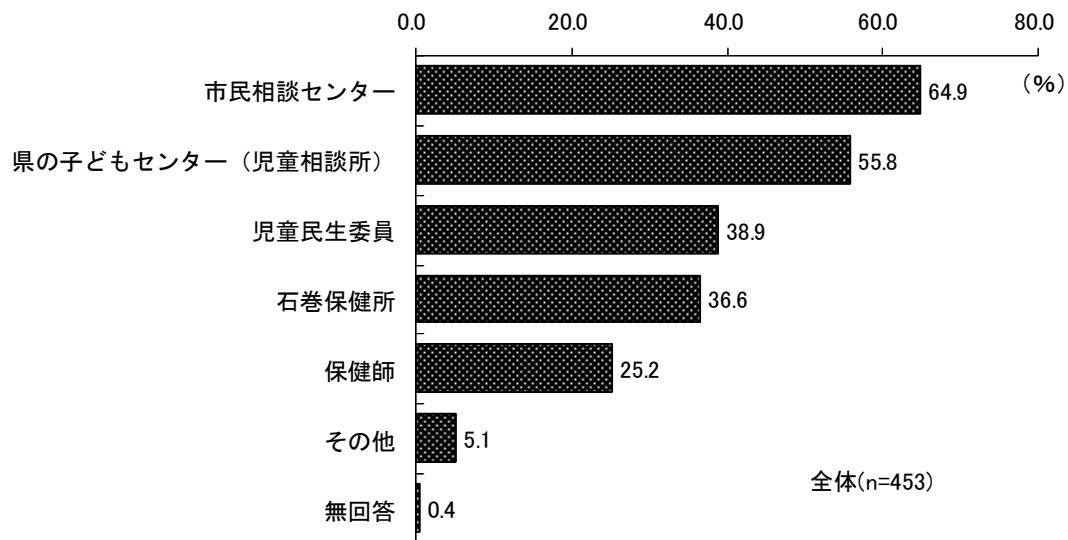
虐待相談窓口の認知状況については、「知っている」の割合は43.3%となっている。性別では、「知っている」の割合は女性で高く、男性を大きく上回っている。年齢別では、「知っている」の割合は30歳代でやや高いが、大きな差は目立たない。



■児童虐待相談窓口の認知度②

相談窓口の中で、知っているものすべてに○をつけてください。
(相談窓口を知っている方のみ)

知っている相談窓口については、「市民相談センター」の割合が64.9%と最も高く、次いで「県の子どもセンター（児童相談所）」（55.8%）、「児童民生委員」（38.9%）、「石巻保健所」（36.6%）の順となっている。



(2) 石巻市民健康調査（母子保健アンケート）

調査の目的	石巻市では、市民の主体的な健康づくりを支援するために、平成 19 年度から平成 28 年度までの 10 年間を計画期間とする「石巻市健康増進計画」を策定し、この計画に基づき様々な取組を進めている。この度、計画の中間見直しにあたって、東日本大震災後の乳幼児の生活に関する実態や課題を把握し、計画づくりに資することを目的として実施した。									
調査対象	平成 24 年 12 月から平成 25 年 1 月までの間に乳幼児検診を受ける乳幼児の保護者									
調査方法	健診票配布時に郵送、調査対象者が記入後、健診日に会場に持参し回収									
調査時期	平成 24 年（2012 年）12 月～平成 25 年（2013 年）1 月									
回収結果	発送数 863 件 有効回収数 506 件 有効回収率 58.6%									
	合計	石巻地区	河北地区	雄勝地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	その他 ^{※1}	無回答
	506 (件)	327	55	1	73	26	12	9	1	2
	100.0 (%)	64.6	10.9	0.2	14.4	5.1	2.4	1.8	0.2	0.4
	※1 「その他」の場合→「県内」1 件※問 3 回答結果より									
調査項目	◇子育て支援について ◇子どもの生活について ◇健診について									

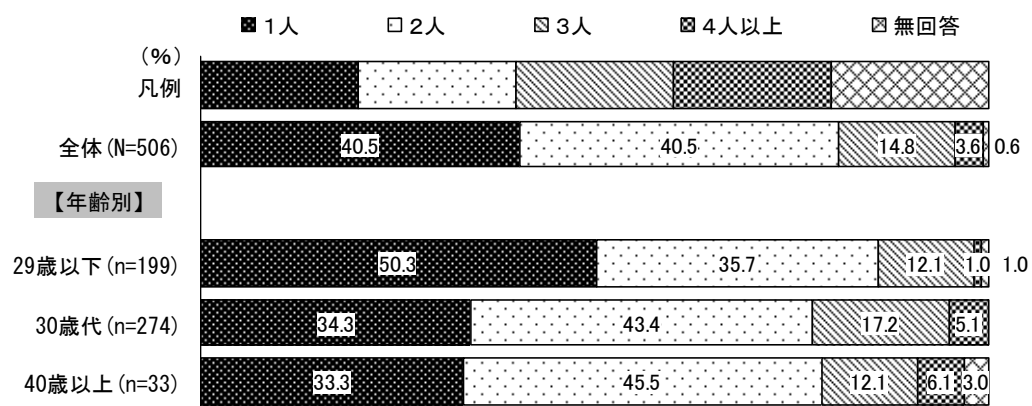
石巻市民健康調査（母子保健アンケート）結果抜粋

■子どもの数

お子様は何人いますか。

子どもの数については、「1人」及び「2人」が各40.5%で、両者で全体の81.0%を占める。次いで「3人」が14.8%となっている。

保護者の年齢別で見ると、29歳以下では「1人」が過半数を占め、他の年齢層を上回っている。30歳以上では年齢による大きな差は目立たない。

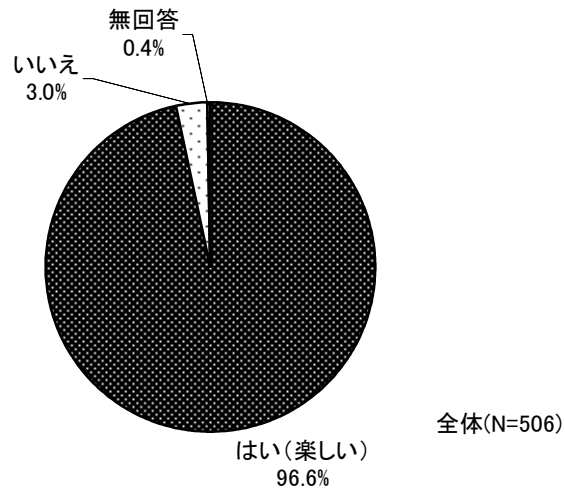


子育て支援

■子育てについて

あなたは、子育てが楽しいと感じていますか。

子育ての楽しさについては、全体の96.0%が「はい（楽しい）」と回答している。
保護者の年齢別、子どもの数別でも大きな差は目立たない。



【保護者の年齢別】

		はい	いいえ	無回答
全体 (N=506)		96.6	3.0	0.4
年齢別	29歳以下 (n=199)	96.5	3.5	0.0
	30歳代 (n=274)	97.4	1.8	0.7
	40歳以上 (n=33)	90.9	9.1	0.0

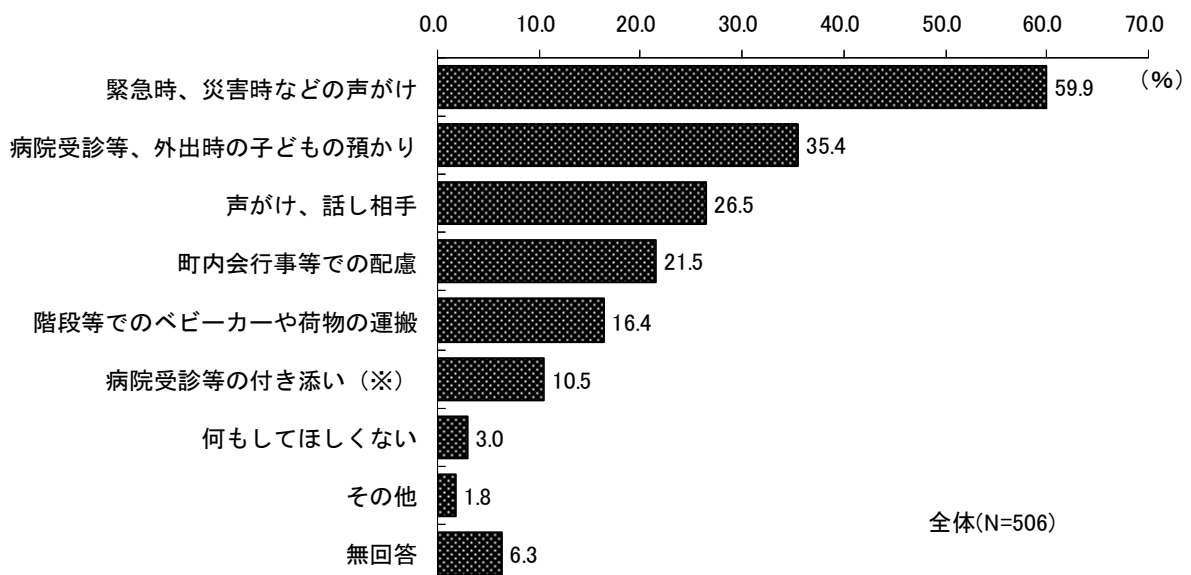
【子どもの数別】

		はい	いいえ	無回答
全体 (N=506)		96.6	3.0	0.4
子ども数別	1人 (n=205)	98.0	2.0	0.0
	2人 (n=205)	96.1	3.4	0.5
	3人以上 (n=93)	94.6	4.3	1.1

■子育てに必要な地域の協力

子育てをしていく上で地域の方から協力してもらいたいことはどんなことですか。

地域の方から協力してもらいたい子育て支援については、「緊急時、災害時などの声かけ」の割合が59.9%と最も高く、次いで「病院受診等、外出時の子どもの預かり」(35.4%)、「声かけ、話し相手」(26.5%)、「町内会行事等での配慮」(21.5%)、「階段等でのベビーカーや荷物の運搬」(16.4%)の順となっている。



保護者の年齢別では、若い年齢層ほど「階段等でのベビーカーや荷物の運搬」の割合が高く、年齢が上がるほど「病院受診等、外出時の子どもの預かり」「声かけ、話し相手」「町内会行事等での配慮」などの割合が高い傾向にある。

子どもの数別では、子どもの数が少ない層ほど「緊急時、災害時などの声かけ」「階段等でのベビーカーや荷物の運搬」などの割合が高く、子どもが3人以上の層では「病院受診等、外出時の子どもの預かり」などの割合が高くなっている。

【保護者の年齢・子どもの数別】

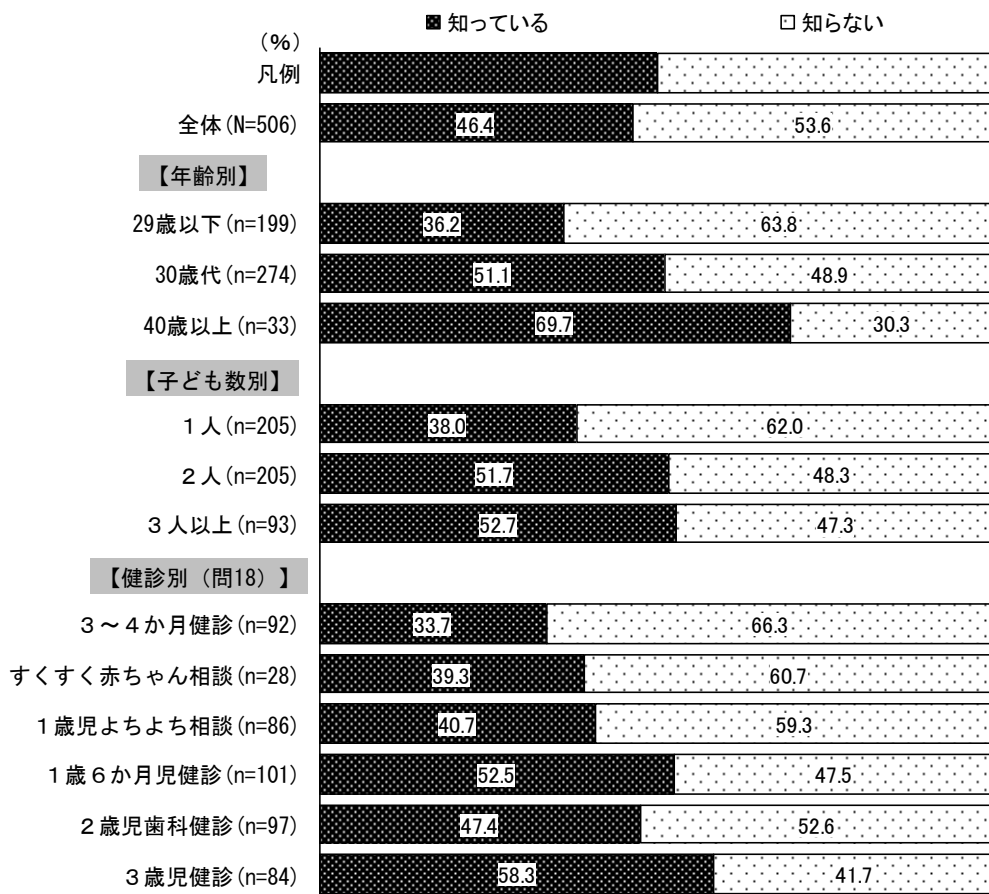
	緊急時、災害時などの声かけ	病院受診等、外出時の子どもの預かり	声かけ、話し相手	町内会行事等での配慮	階段等でのベビーカーや荷物の運搬	病院受診等の付き添い(※)	何もしてほしくない	その他
全体(N=506)	59.9	35.4	26.5	21.5	16.4	10.5	3.0	1.8
年齢別								
29歳以下(n=199)	60.8	30.2	25.1	16.6	17.6	9.0	4.0	0.5
30歳代(n=274)	59.1	38.3	25.2	24.5	16.4	10.6	1.8	2.6
40歳以上(n=33)	60.6	42.4	45.5	27.3	9.1	18.2	6.1	3.0
子ども数別								
1人(n=205)	65.4	32.2	27.8	20.5	18.0	9.3	1.5	2.4
2人(n=205)	59.5	34.6	28.3	20.5	17.6	12.7	3.4	0.5
3人以上(n=93)	47.3	45.2	18.3	26.9	10.8	8.6	5.4	3.2

※兄弟姉妹がいる場合等、一緒に行く

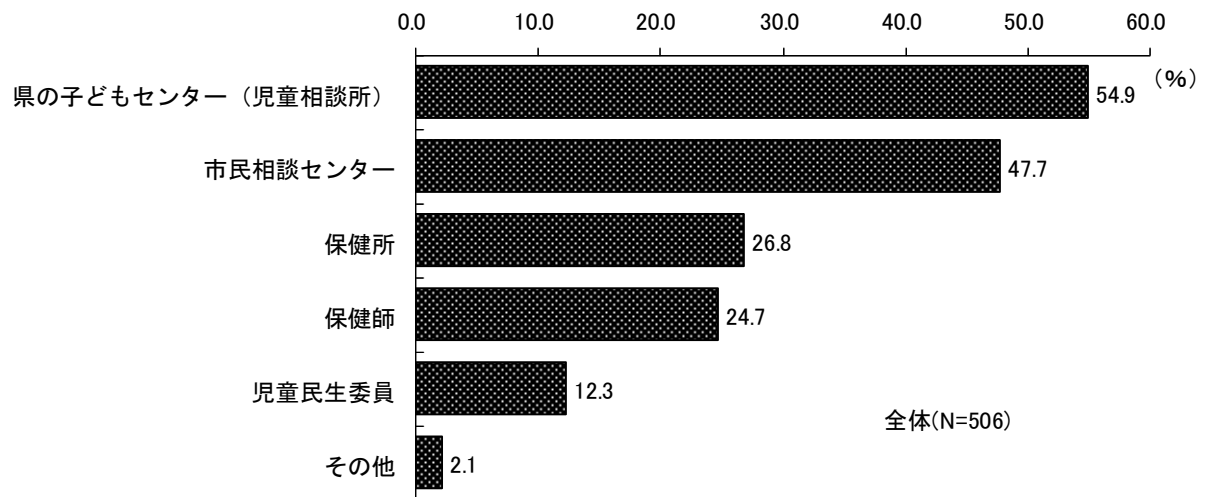
■児童虐待についての相談窓口

児童虐待についての相談窓口を知っていますか。

児童虐待相談窓口認知状況については、46.4%が「知っている」と回答している。年齢別では、年齢が上がるほど「知っている」の割合も高くなる傾向にある。子どもの数別では、2人以上の層で、「知っている」の割合がそれぞれ半数以上を占めている。当日の健診別では、1歳6か月児健診や3歳児健診で、「知っている」の割合がそれぞれ半数以上を占めている。



知っている児童虐待相談窓口については、「県の子どもセンター（児童相談所）」の割合が54.9%と最も高く、次いで「市民相談センター」（47.7%）、「保健所」（26.8%）、「保健師」（24.7%）の順となっている。



子どもの生活

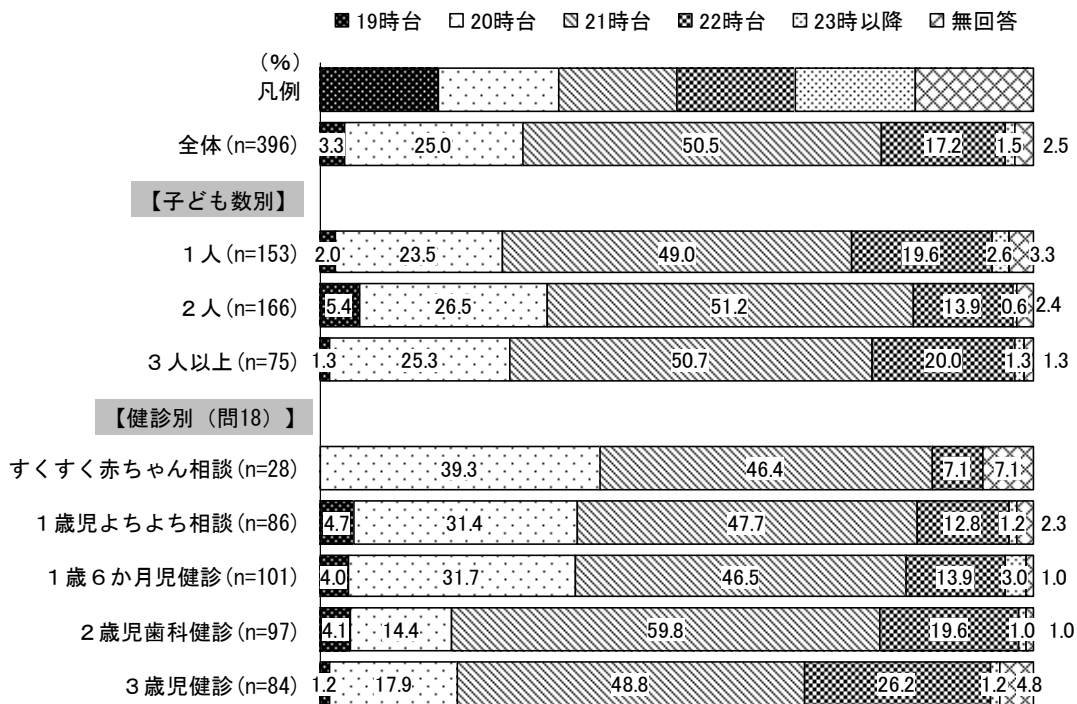
■就寝時間

お子様の就寝時間は何時ですか。(3～4か月児健診の方以外)

子どもの就寝時間については、「21時台」が50.5%と半数を占め最も高く、次いで「20時台」(25.0%)、「22時台」(17.2%)の順となっており、これら『20～22時台』合計で全体の92.7%を占めている。

子どもの数別では、2人で「19時台」の割合がやや高いが、大きな差は目立たない。

当日の健診別では、2歳児歯科健診及び3歳児健診で「21時台」以降の割合が高くなっている。

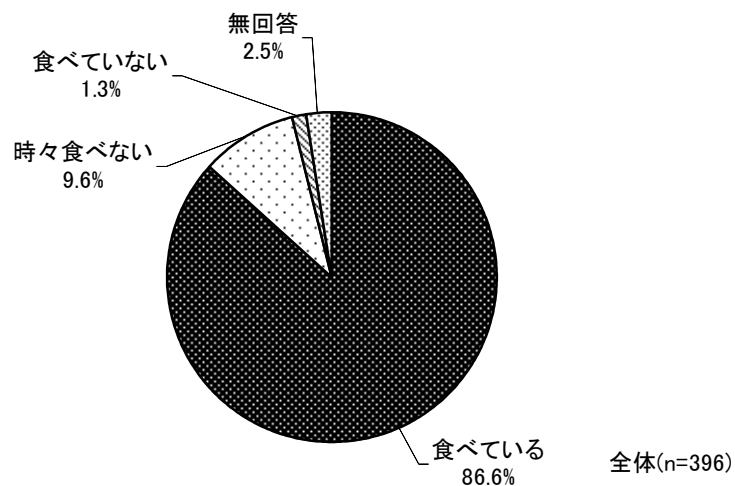


■朝食

お子様は、朝食を毎日食べていますか。(3～4か月児健診の方以外)

子どもの朝食の摂取については、「食べている」の割合が86.6%と大半を占めており、「時々食べない」は9.6%、「食べていない」は1.3%みられた。

保護者の年齢別、子どもの数別でも大きな差は目立たない。



【保護者の年齢別】

		食べている	時々食べない	食べていない	無回答
全体(N=396)		86.6	9.6	1.3	2.5
年齢別	29歳以下(n=148)	83.1	12.2	0.0	4.7
	30歳代(n=222)	89.6	7.2	1.8	1.4
	40歳以上(n=26)	80.8	15.4	3.8	0.0

【子どもの数別】

		食べている	時々食べない	食べていない	無回答
全体(N=396)		86.6	9.6	1.3	2.5
子ども数別	1人(n=153)	85.0	10.5	1.3	3.3
	2人(n=166)	84.9	10.8	1.8	2.4
	3人以上(n=75)	94.7	4.0	0.0	1.3

■水・お茶以外の飲料水

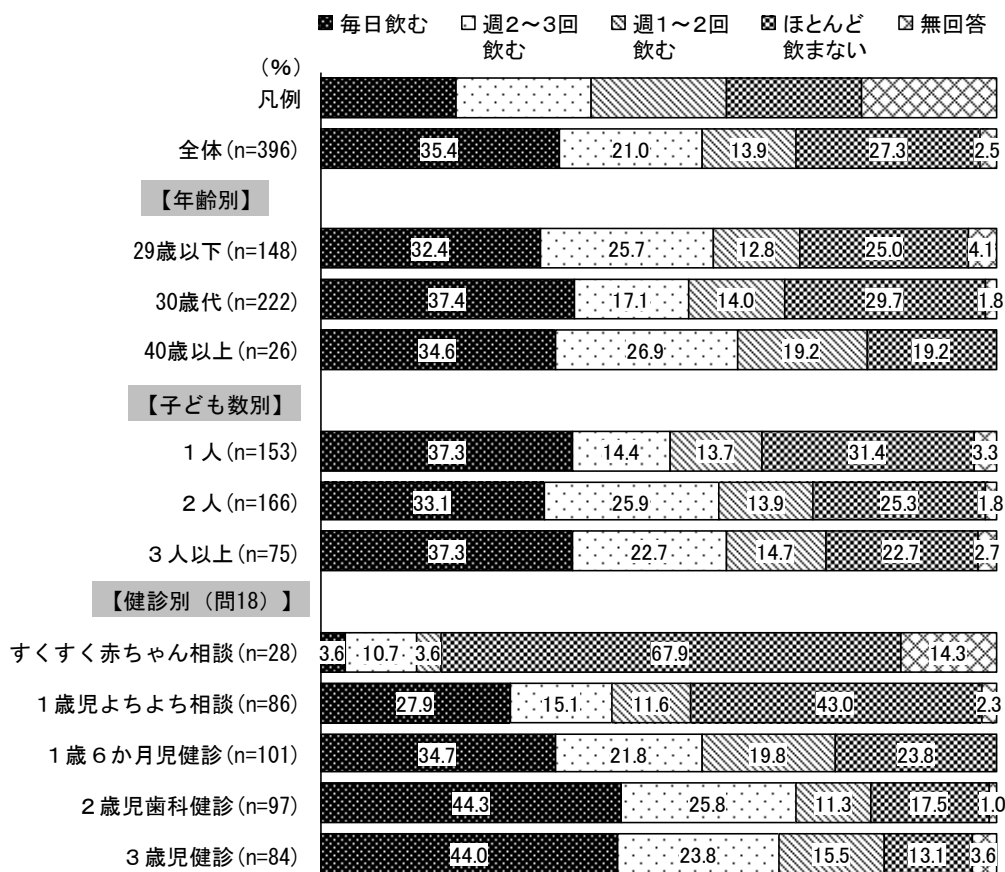
お子様は、水・お茶類以外の甘い飲み物（たとえば清涼飲料水、スポーツドリンク、缶コーヒー、栄養ドリンクなど）を飲みますか。（3～4か月児健診の方以外）

子どもの甘い飲み物の飲用状況については、「毎日飲む」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「週2～3回飲む」が 21.0%、「週1～2回飲む」が 13.9%となっており、「ほとんど飲まない」は3割近く（27.3%）みられた。

保護者の年齢別では、30歳代以下の年齢層で「ほとんど飲まない」の割合が高くなっている。

子どもの数別では、「1人」で「ほとんど飲まない」の割合が高くなっている。

当日の健診別では、2歳児歯科健診以上の層で「毎日飲む」の割合が高くなっている。

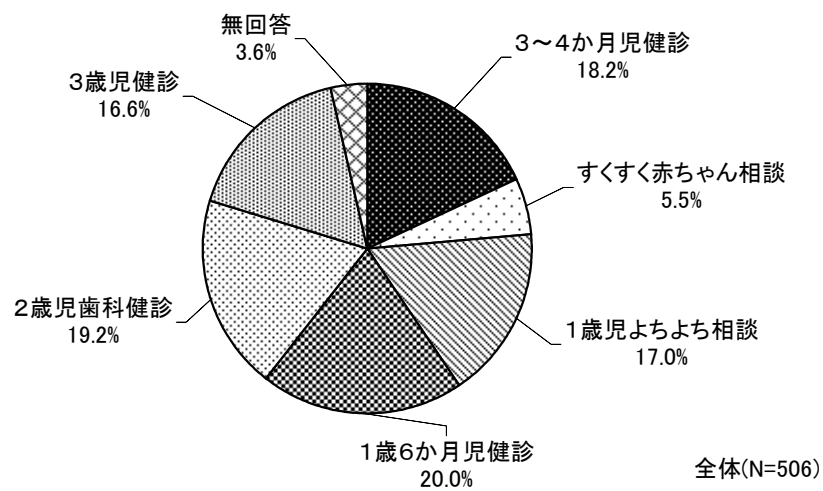


健診について

■受診した健診

本日の健診はどの健診に該当しますか。

本日の健診については、「1歳6か月児健診」の割合が20.0%と最も高く、次いで「2歳児歯科健診」(19.2%)、「3～4か月児健診」(18.2%)、「1歳児よちよち相談」(17.0%)の順となっている。



■ 健診の感想

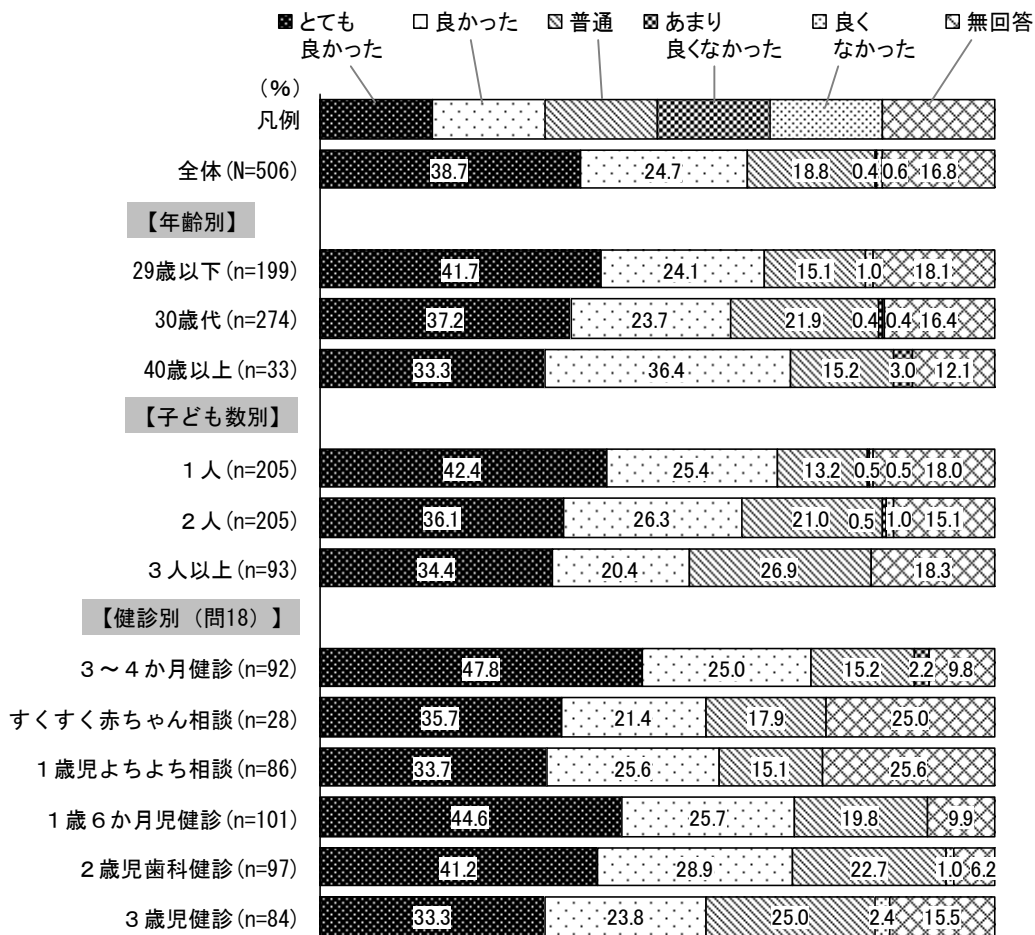
本日の健診を受けてどのような感想をもたれましたか。

本日の健診を受けての感想については、「とても良かった」の割合が 38.7%と最も高く、「良かった」が 24.7%で続き、合計 63.4%が『良かった』と回答している。一方、「あまり良くなかった」(0.4%)と「良くなかった」(0.6%)の合計は 1.0%となっている。「普通」は 18.8%みられた。

保護者の年齢別では、年齢が上がるほど「とても良かった」の割合が低くなる傾向にあるが、『良かった(合計)』は 40歳以上で最も高くなっている。

また、子どもの数が少ない層ほど、「とても良かった」の割合も高い傾向にある。

当日の健診別では、3～4か月健診や1歳6か月児健診、2歳児歯科健診などでとても良かった」の割合が高くなっている。



(3) 平成24年度母子保健情報調査

平成24年度母子保健情報調査結果抜粋

■妊娠中の母親の喫煙状況

妊娠中の母親の喫煙状況については、1,074人中84人が喫煙しており、25～34歳の喫煙者が多くなっている。

		15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	合計
吸う	総数	0	19	23	23	16	3	84
	1～2本/日		1	5	2			8
	3～5本/日		7	5	6	3	1	22
	6～10本/日		8	7	8	8	1	32
	11本以上/日		2	5	7	5	1	20
	不詳		1	1	0	0		2
吸わない	総数	28	141	306	271	156	30	932
不詳	総数	7	5	14	18	14	0	58
合計		35	165	343	312	186	33	1074

■妊娠中の母親の飲酒状況

妊娠中の母親の飲酒状況については、1,074人中26人が飲酒しており、30～34歳の飲酒者が多くなっている。

		15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	合計
あり	総数	0	2	6	11	6	1	26
	妊娠中に10回未満							0
	月に1～2回			1	2	1		4
	週に1～2回			2	4			6
	週に3回以上		1	1	4	3	1	10
	不詳		1	2	1	2		6
なし	総数	28	159	323	282	167	32	991
不詳	総数	7	4	14	18	14		57
合計		35	165	343	311	187	33	1074

■3歳児健康診査の身体状況（カウプ指数）

3歳児健康診査の身体状況については、1,020人中8人が「やせすぎ」、235人が「やせ気味」と回答している。

身体状況	カウプ指数	男	女	合計
やせすぎ	～13.4	3	5	8
やせ気味	13.5～14.9	110	125	235
普通	15.0～16.9	335	277	612
太り気味	17.0～18.4	69	61	130
太りすぎ	18.5～	16	17	33
不明		1	1	2
合計		534	486	1020

(4) 石巻市学校アンケート調査（中学2年生・小学5年生）

調査対象	石巻市内の中学2年生・小学5年生
調査時期	平成25年2月
調査項目	◇食生活について

石巻市学校アンケート調査結果抜粋

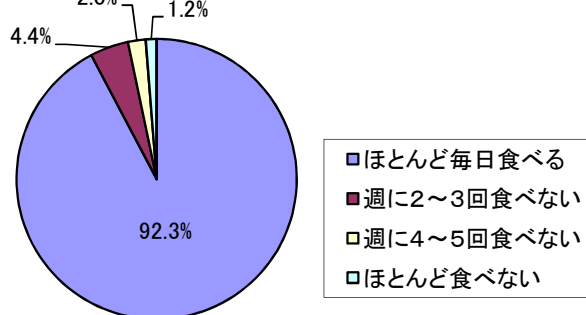
食生活

■朝食の摂取

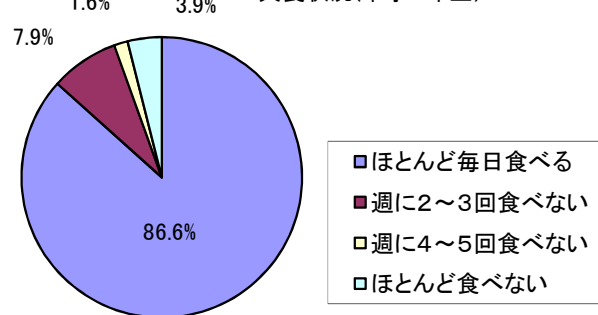
あなたは朝食を食べていますか。

朝食の摂取状況については、小学生で92.3%、中学生で86.6%と「ほとんど毎日食べる」の割合が高くなっているが、小学生では7.6%、中学生では13.4%が週に何回かは朝食を抜くと回答している。

欠食状況(小学5年生)



欠食状況(中学2年生)



■朝食を食べない理由

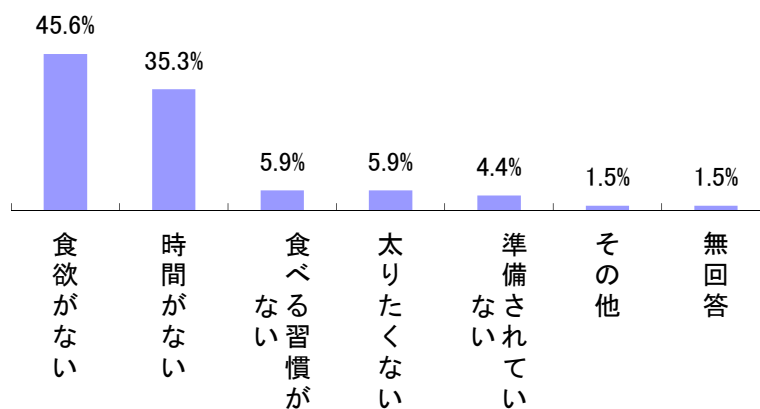
朝食を食べない理由は何ですか。(ほとんど毎日食べる方以外)

朝食を食べない理由については、小学生では「食欲がない」の割合が45.6%と最も高く、次いで「時間がない」(35.3%)の順になっている。

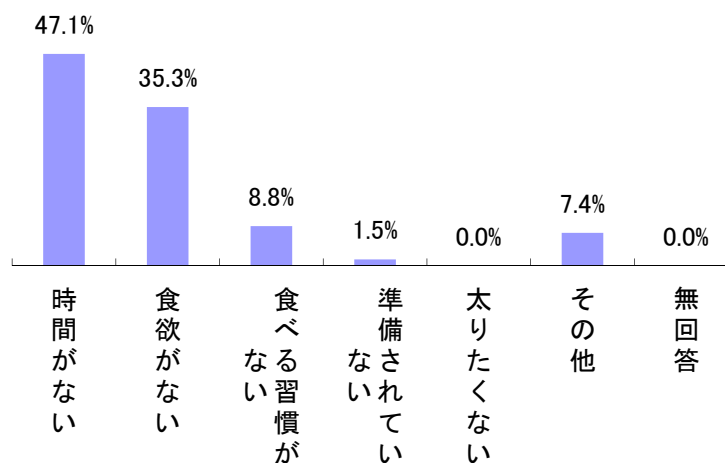
中学生では「時間がない」の割合が47.1%と最も高く、次いで「食欲がない」(35.3%)の順になっている。

1割に満たないが、「食べる習慣がない」、「準備されていない」、「太りたくない」などの回答もある。

朝食を食べない理由(小学5年生)



朝食を食べない理由(中学2年生)

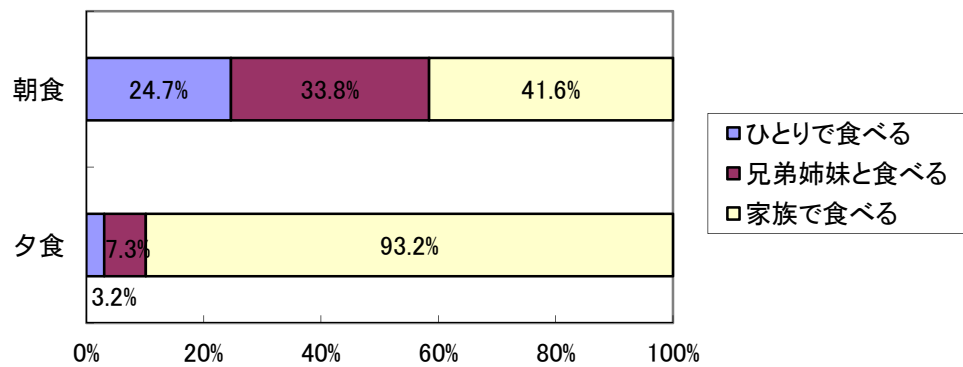


■孤食状況

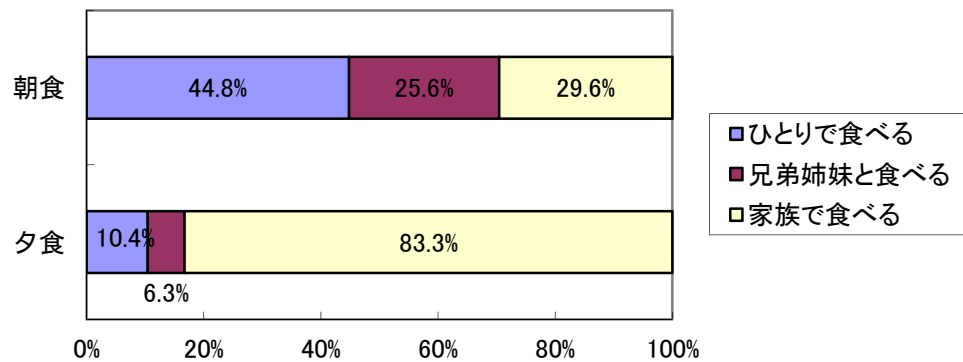
朝食・夕食をだれといっしょに食べる人が多いですか。

朝食・夕食をだれといっしょに食べる人が多いかについては、朝食では「ひとりで食べる」の割合が小学生は 24.7%、中学生は 44.8%となっている。夕食については、小学生、中学生ともに約 1 割にとどまっている。

孤食の状況(小学5年生)



孤食の状況(中学2年生)



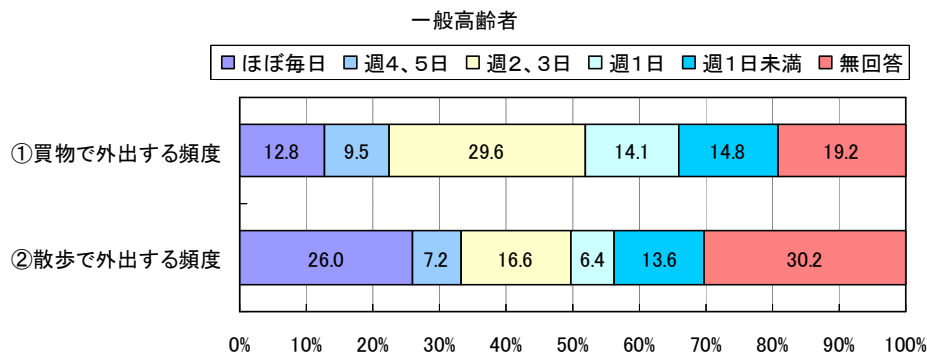
(5) 日常生活圏域ニーズ調査

日常生活圏域ニーズ調査結果抜粋

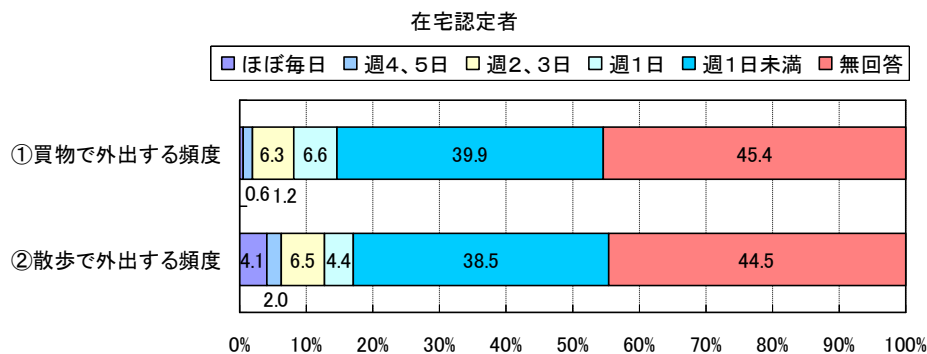
■外出の頻度

買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。

一般高齢者の外出頻度については、①買物で外出する頻度は、「週2、3日」が29.6%で最も多く、以下「週1日未満」(14.8%)、「週1日」(14.1%)などが多くなっている。また、②散歩で外出する頻度は、「ほぼ毎日」が26.0%で最も多く、以下「週2、3日」(16.6%)、「週1日未満」(13.6%)などが多くなっている。



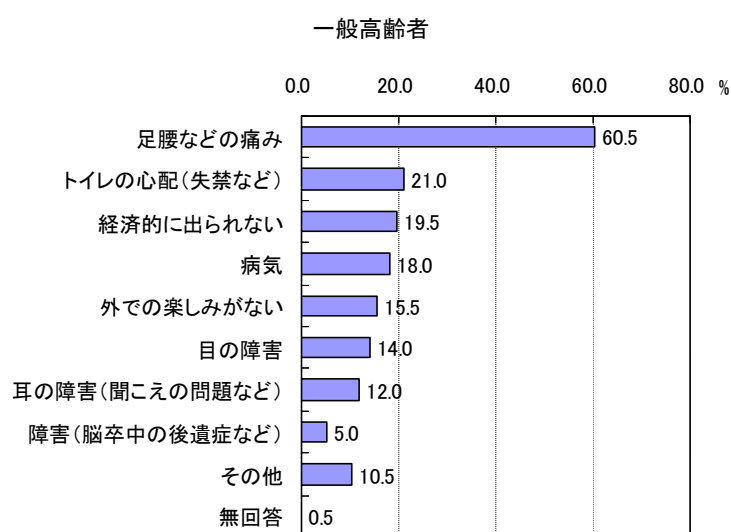
在宅認定者の外出頻度については、①買物で外出する頻度は、「週1日未満」が39.9%で最も多く、以下「週1日」(6.6%)、「週2、3日」(6.3%)などが多くなっており、頻度が高い回答ほど構成比が低くなっていることがわかる。また、②散歩で外出する頻度は、「週1日未満」が38.5%で最も多く、以下「週2、3日」(6.5%)、「週1日」(4.4%)などが多くなっている。



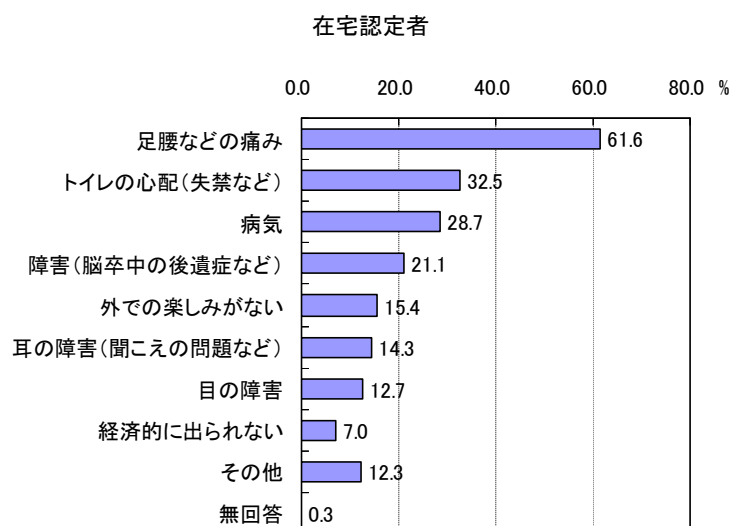
■外出を控える理由

外出を控える理由は、次のうちどれですか。(外出を控えている方のみ)

一般高齢者の外出を控える理由については、「足腰などの痛み」が60.5%で最も多く、以下「トイレの心配(失禁など)」(21.0%)、「経済的に出られない」(19.5%)、「病気」(18.0%)、「外での楽しみがない」(15.5%)、「目の障害」(14.0%)などの順となっている。また、「その他」の内容としては、「用事がない」、「歩行が困難」、「仕事・看病・留守番等で家にいる必要があるため」などがあげられている。



在宅認定者の外出を控える理由については、「足腰などの痛み」が61.6%で最も多く、以下「トイレの心配(失禁など)」(32.5%)、「病気」(28.7%)、「障害(脳卒中の後遺症など)」(21.1%)、「外での楽しみがない」(15.4%)、「耳の障害(聞こえの問題など)」(14.3%)などの順となっている。また、その他の内容としては、「寒いので風邪が心配」、「寝たきりである」、「歩行が困難」、「転倒の不安がある」などがあげられている。



(6) 平成24年度応急仮設住宅（プレハブ）入居者健康調査

調査の目的	変化する被災者の健康状況を把握し、潜在化している要フォロー者に対して具体的な健康支援事業等に結びつけることを目的として実施する。また、市町村間の比較検討や必要な支援を実施するための基礎資料とすることを目的とする。									
調査の主体	県と応急仮設住宅（プレハブ）を管理する10市町の共同実施									
調査対象	県内10市町が管理する応急仮設住宅（プレハブ）の入居者									
調査方法	(1) 配布方法 戸別訪問 (2) 回収方法 市町村による戸別訪問または郵送									
調査時期	平成24年（2012年）9月～10月（東松島市のみ11月）									
回収結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回収数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町村回収</td> <td>5,240</td> <td>55.9%</td> </tr> <tr> <td>郵送回収</td> <td>4,126</td> <td>44.1%</td> </tr> </tbody> </table>		回収数	割合	市町村回収	5,240	55.9%	郵送回収	4,126	44.1%
	回収数	割合								
市町村回収	5,240	55.9%								
郵送回収	4,126	44.1%								
調査項目	(1) 個人属性 ①氏名・性別・生年月日 ②続柄 ③職業 (2) 健康状況 ①身体的状況（健診の受診状況、体調、疾病の状況、治療状況） ②心理的状況（K6、睡眠・飲酒・食欲・体重変化、相談相手の有無） * K6（ケーシックス）・・・不安、抑うつ症状を測定する指標 ③身体活動・社会性の状況（体を動かす機会の変化、行事への参加状況） ④福祉制度の活用状況（要介護認定の状況、障害者手帳の有無、サービス利用の状況）									

平成24年度応急仮設住宅（プレハブ）入居者健康調査結果抜粋

■石巻市の調査票の回収状況

配布世帯数は7,096世帯で、回収世帯数4,399世帯（回収率62.0%）、回答人数9,990人であった。

還元された回収データについて、重複データの削除等有効回答を精査の結果、4,360世帯（回収率61.4%）延べ9,846人を集計対象とした。その内、戸別訪問回収は2,837世帯（65.1%）、郵送回収1,523世帯（34.9%）であった。

注）各項目で、性別及び年齢無記入のデータは、性別集計と年代別集計からは除外して集計した。

■世帯人数

各世帯の人数は、2人が35.7%と最も多く、次いで1人29.5%であった。

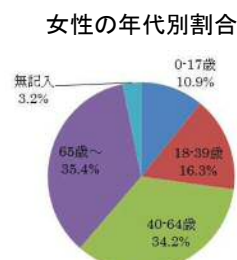
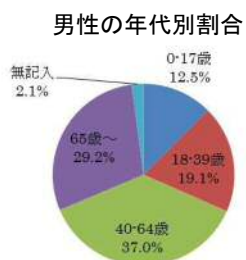
世帯人数	世帯数	割合	参考値（全県）
1人	1,285	29.5%	27.0%
2人	1,557	35.7%	35.5%
3人	804	18.4%	18.7%
4人以上	714	16.4%	18.8%
計	4,360	100.0%	100.0%



■調査対象者の属性

性別は、男性4,621人（46.9%）、女性5,007人（50.9%）、性別の無記入218人（2.2%）であった。また、65歳以上の高齢者の割合は、全体では32.1%で、女性の方が男性より6.2%高かった。

	0-17歳	18-39歳	40-64歳	65歳～	無記入	計(人)
男性	579	881	1,712	1,351	98	4,621
女性	546	814	1,713	1,773	161	5,007
無記入	41	37	27	36	77	218
計	1,166	1,732	3,452	3,160	336	9,846



■体調

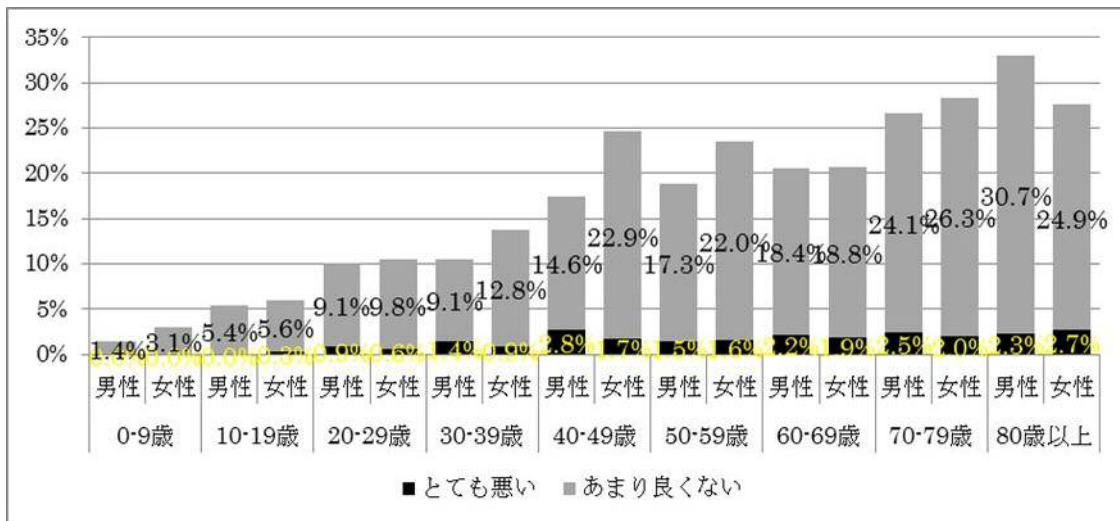
体調については、「あまり良くない」が17.1%、「とても悪い」が1.7%で、合計18.8%が体調が悪いと回答している。

性別では、女性に比べ男性の方が「大変よい」が高い傾向にあった。

性・年代別では、年代が上がるにつれて「あまり良くない」が高くなり、女性の40歳代と70歳以上の男女で高い傾向があった。

	人数	割合	参考値(全県)	男性(再掲)	女性(再掲)
大変よい	1,570	15.9%	17.2%	18.2%	13.8%
まあよい	5,979	60.7%	63.4%	60.4%	61.7%
あまり良くない	1,687	17.1%	17.6%	15.8%	18.7%
とても悪い	163	1.7%	1.5%	1.7%	1.6%
無記入	447	4.5%		4.0%	4.2%
計	9,846	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

性・年代別 「あまり良くない」と「とても悪い」合計割合(%)



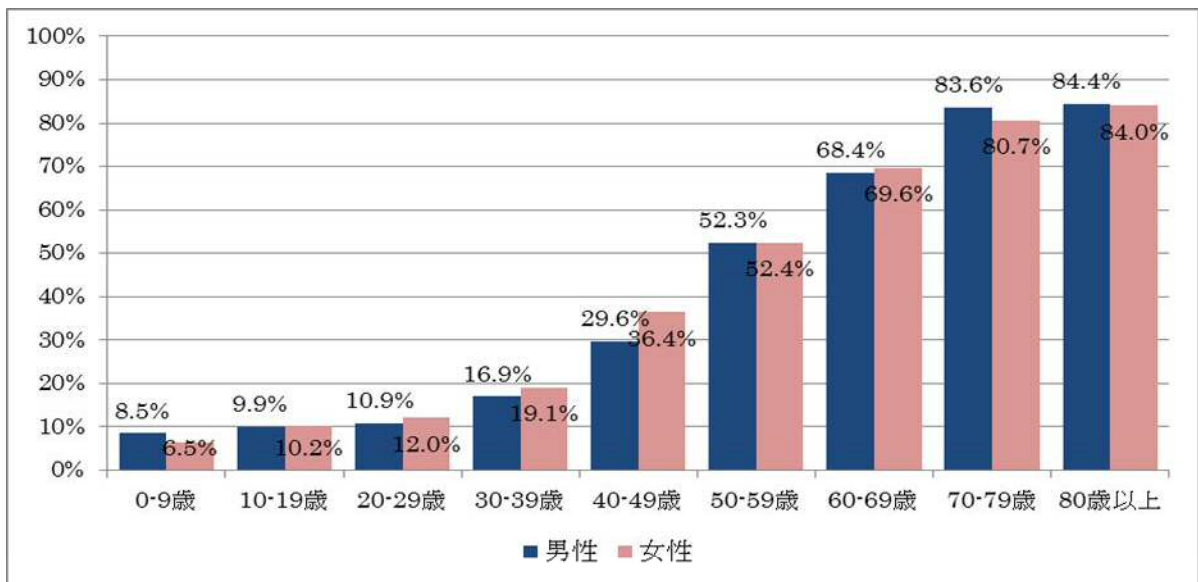
■ 疾病状況

現在の病気の有無については、「ある」の割合が 48.8%で、「ない」の割合は 44.0%であった。

性・年代別では、年代が上がるにつれて「ある」の割合は高くなり、50歳代以上では5割以上を占めている。

	人数	割合	参考値(全県)	男性(再掲)	女性(再掲)
ある	4,805	48.8%	52.0%	44.8%	50.0%
ない	4,328	44.0%	48.0%	53.6%	48.3%
無記入	713	7.2%		1.6%	1.7%
計	9,846	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

性・年代別 「病気がある人」の割合 (%)



■ 病気の種類

病気の種類については、「高血圧」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「糖尿病」(8.4%)、「心疾患」(4.5%)、「呼吸器疾患」(3.7%)の順となっており、生活習慣病の割合が約半数を占めている。

	人数	割合	参考値(全県)	男性(再掲)	女性(再掲)
高血圧	2,695	27.4%	27.3%	26.0%	29.2%
糖尿病	825	8.4%	8.7%	10.0%	7.0%
心疾患	446	4.5%	4.5%	5.2%	4.1%
呼吸器疾患	367	3.7%	3.4%	4.2%	3.4%
精神疾患	336	3.4%	3.1%	2.7%	4.1%
がん	272	2.8%	2.8%	3.2%	2.4%
脳血管疾患	188	1.9%	2.2%	2.3%	1.6%
透析・性別	41	0.4%	0.4%	0.5%	0.3%
その他	1,517	15.4%	16.5%	12.4%	18.3%

■食欲及び体重変化の状況

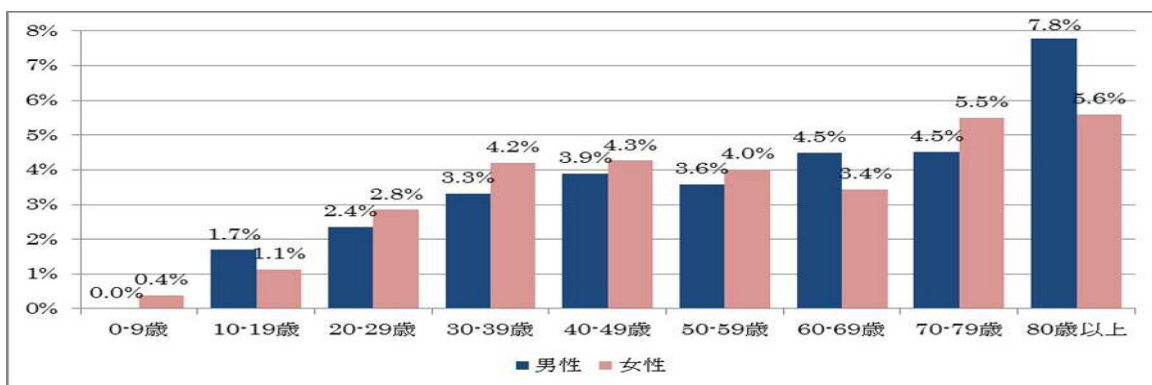
食欲及び体重の変化状況については、「食欲がない」人の割合が3.9%となっている。性・年代別では、年代が上がるにつれてやや高くなる傾向があった。

「体重が減少した」人の割合は、年代が上がるにつれて顕著に高くなる傾向があった。

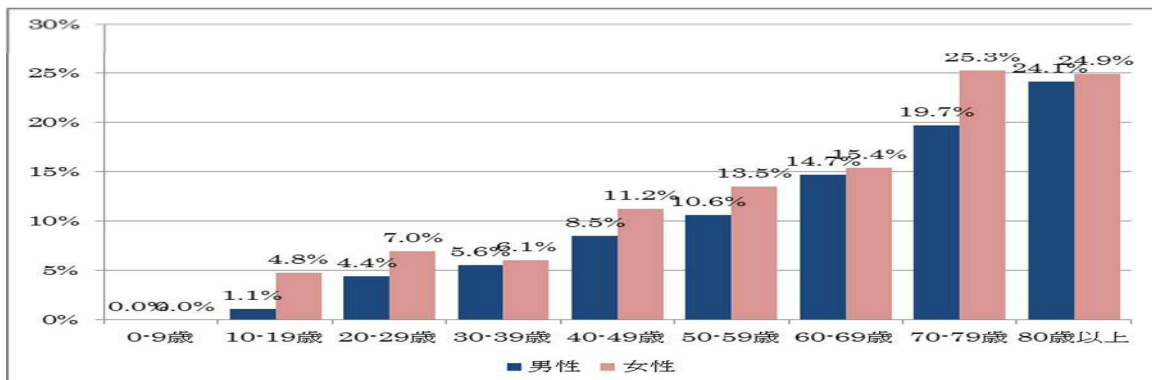
「体重が増加した」人の割合は、男性では、0～29歳で女性より高く、一方女性では、30～60歳代で男性より高い傾向があった。

	人数	割合	参考値（全県）	男性（再掲）	女性（再掲）
食欲がない	381	3.9%	3.5%	3.8%	3.9%
体重減少	1,248	12.7%	12.6%	10.9%	14.6%
体重増加	1,983	20.1%	19.8%	18.7%	21.8%

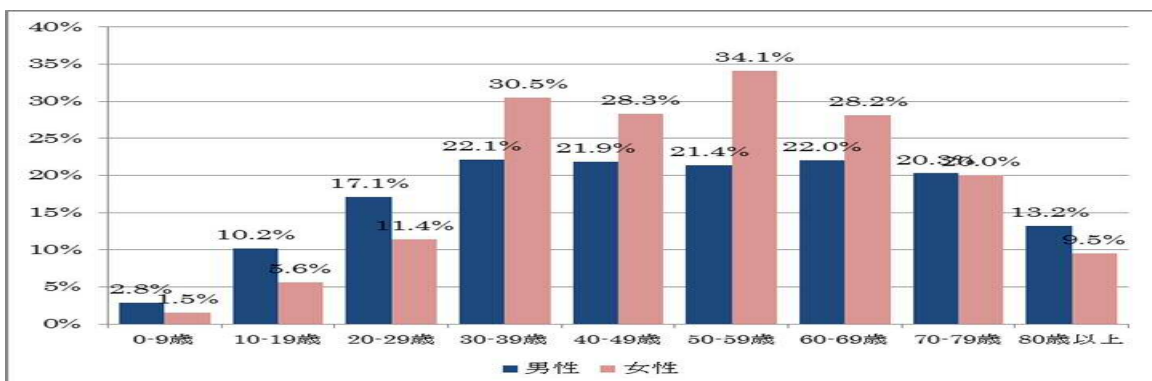
性・年代別 「食欲がない」人の割合（%）



性・年代別 「体重が減少した」人の割合（%）



性・年代別 「体重が増加した」人の割合（%）



※割合は、年代ごとの有効回答数に占める割合。

運動・身体

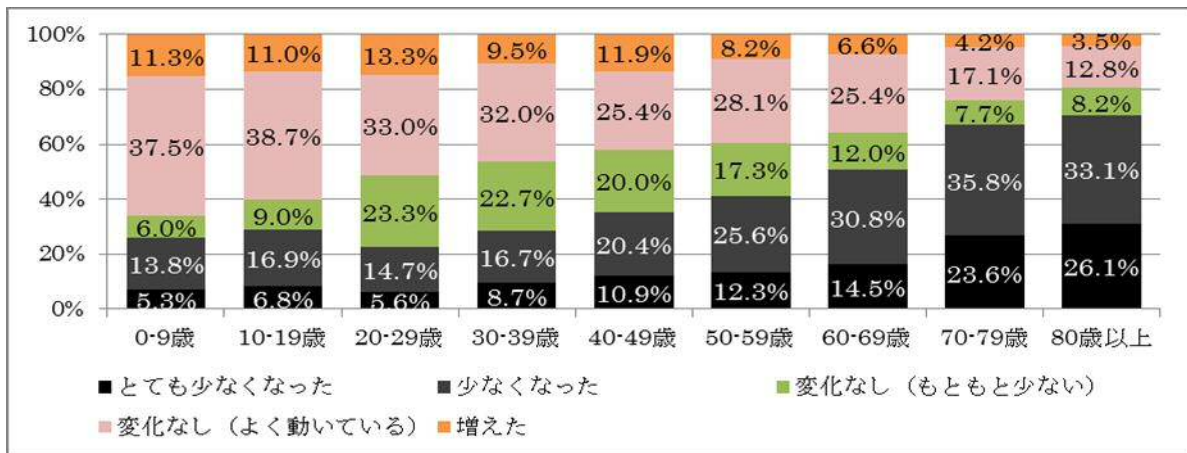
■体を動かす機会の変化

体を動かす機会の変化については、「とても少なくなった」が18.4%、「少なくなった」が31.5%で、合計49.9%が体を動かす機会が少なくなったと回答している。一方、「増えた」は8.3%であった。

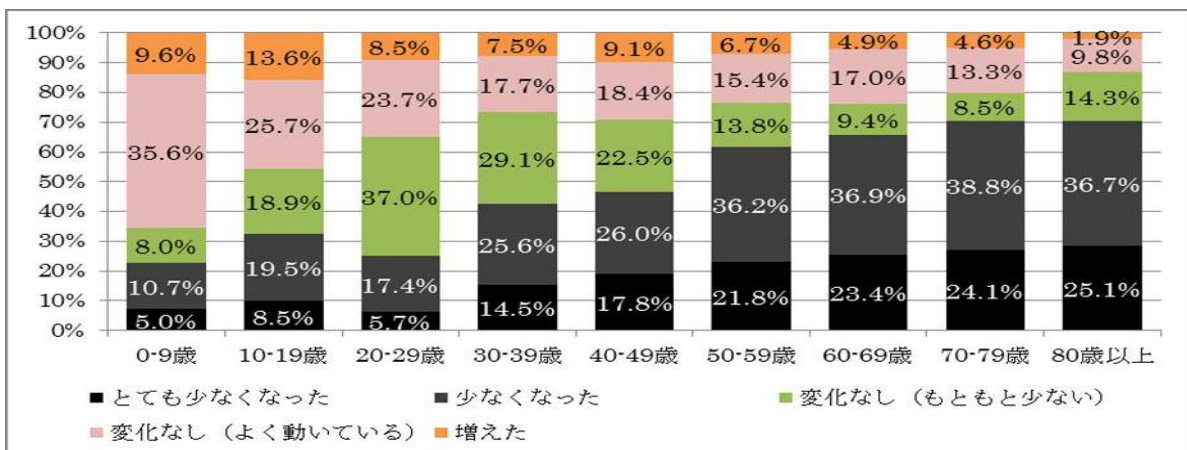
性・年代別では、男性に比べて女性の方が体を動かす機会が少なくなったという傾向があった。また、男女ともに年代が上がるにつれて体を動かす機会が少なくなったと回答している。

	人数	割合	参考値（全県）	男性（再掲）	女性（再掲）
とても少なくなった	1,596	18.4%	18.8%	15.3%	21.2%
少なくなった	2,741	31.5%	31.8%	28.2%	34.6%
変化なし(もともと少ない)	1,478	17.0%	16.2%	16.3%	17.6%
変化なし(よく動く)	2,154	24.8%	25.1%	30.6%	19.4%
増えた	725	8.3%	8.0%	9.5%	7.3%
合計	8,694	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

男性 年代別の体を動かす機会の変化の割合（％）



女性 年代別の体を動かす機会の変化の割合（％）



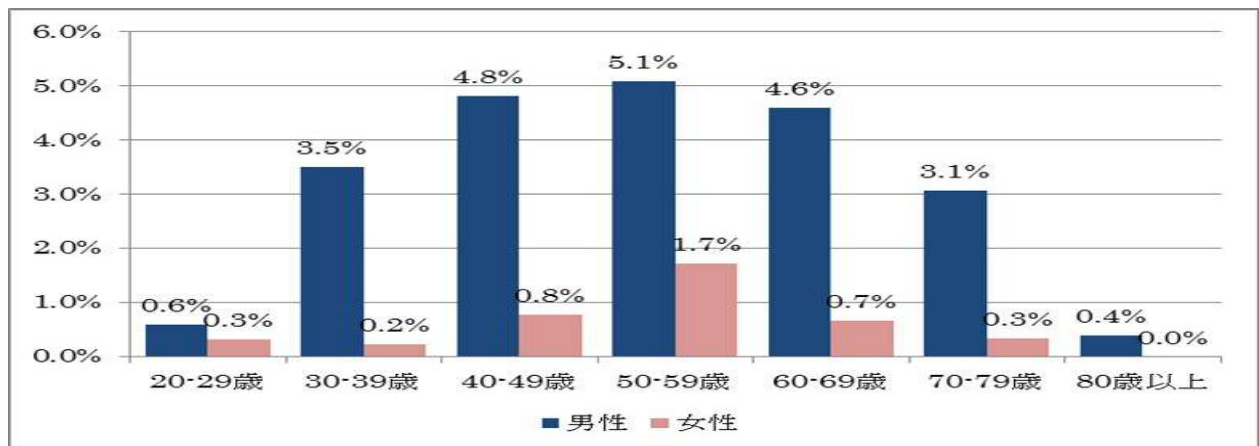
お酒

■飲酒の状況

飲酒状況については、「朝又は昼から飲酒することがある」の割合が1.8%となっている。性・年代別では、女性に比べ男性の方が高く、40～60歳代の働き盛りの年代で高い傾向がみられた。

	人数	割合	参考値(全県)	男性(再掲)	女性(再掲)
朝から飲酒	182	1.8%	1.8%	3.3%	0.6%

性・年代別 「朝又は昼から飲酒することがある」人の割合



※割合は、年代ごとの有効回答数に占める割合。

心の健康

■心の問題（K6）

☆K6とは

（ア）神経過敏に感じる（イ）絶望的だと感じる（ウ）そわそわ、落ち着かなく感じる（エ）気分が沈み込んで、何がおこっても、気が晴れない感じがする（オ）何をするのも骨折りだと感じる（カ）自分は価値のない人間だと思うの6項目から構成されている不安・抑うつ症状を測定する指標です。算出方法は、6項目すべてを回答した18歳以上の方を測定対象とし、1項目につき0～4点（全く感じない：0点、少しだけある：1点、時々ある：2点、たいていある：3点、いつもある：4点）とし、6項目の合計得点が指標結果となります。得点は最大24点で、点数が高いほど不安・抑うつなどの心理的苦痛が高いことを意味します。得点の結果内容は、5点以上が「心理的ストレス」、10点以上が「気分・不安障害相当」、13点以上が「重度症精神障害相当」と判定されます。

【判定】

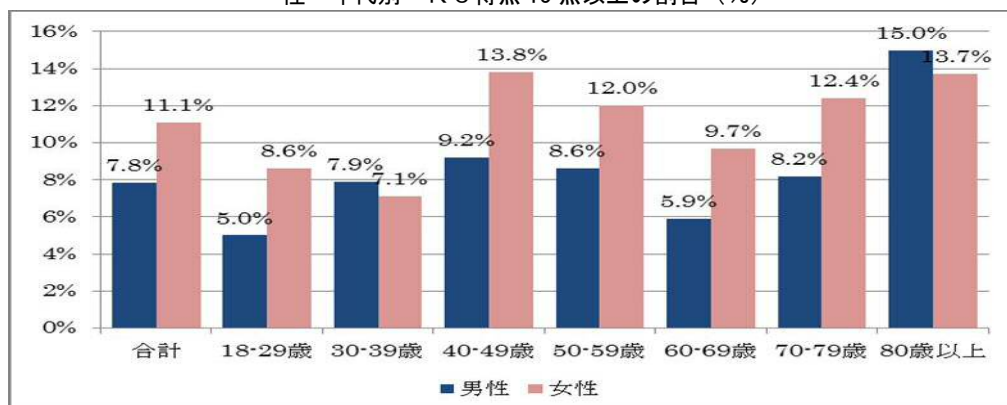
得点	判定
5点以上	心理的ストレス
10点以上	気分・不安障害相当
13点以上	重度症精神障害相当

不安、抗うつ症状を測定する指標であるK6（質問紙による検査）でみると、重度症精神障害相当の「13点以上」の割合は9.5%となっている。

性・年齢別では、男性に比べ女性の方が高い傾向にあり、40～70歳代では男性を大きく上回っている。

	人数	割合	参考値（全県）	男性（再掲）	女性（再掲）
13点以上	628	9.5%	9.5%	7.8%	11.1%
10-12点	610	9.3%	9.5%	8.6%	9.9%
5-9点	1,648	25.0%	26.3%	23.3%	26.7%
5点未満	3,707	56.2%	54.7%	60.3%	52.3%
計	6,593	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

性・年代別 K6得点13点以上の割合（%）



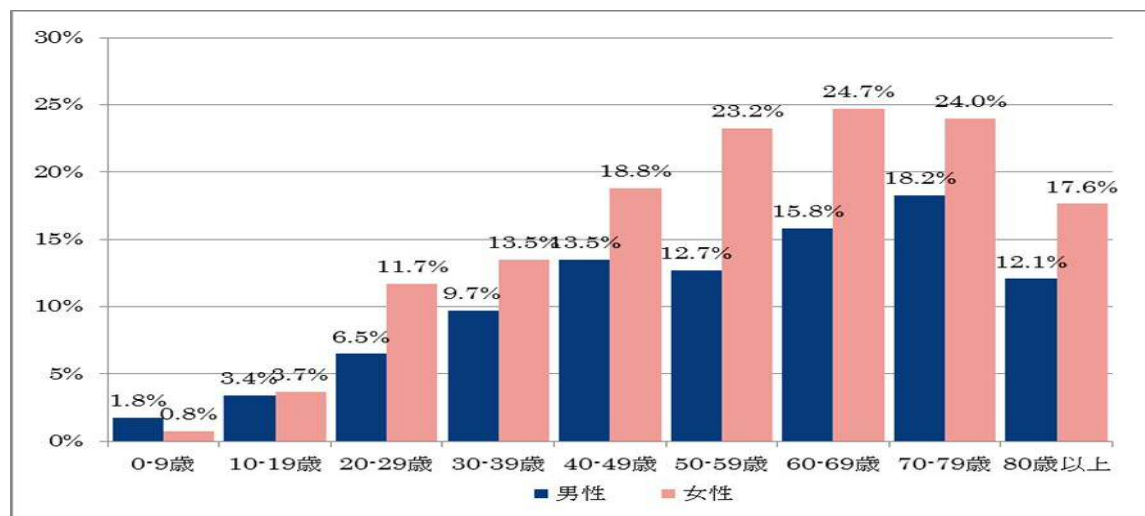
■不眠の状況

不眠の状況については、「眠れない」の割合が15.6%となっている。

性・年代別では、女性が高い傾向で、特に60歳代で最も高く24.7%となっている。男性では、70歳代の18.2%が最も高かった。

	人数	割合	参考値(全県)	男性(再掲)	女性(再掲)
眠れない	1,534	15.6%	15.3%	12.3%	18.7%

性・年代別 「眠れない」人の割合(%)



※割合は、年代ごとの有効回答数に占める割合。

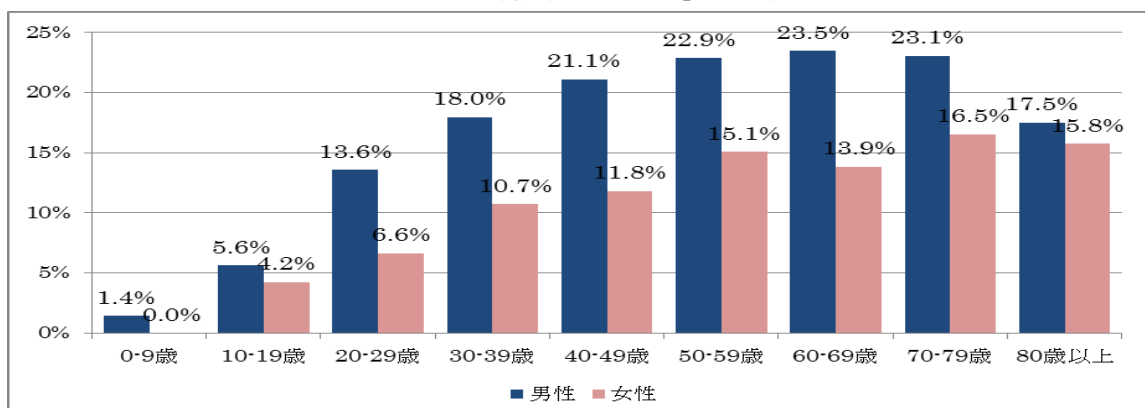
■相談相手の有無

相談相手の有無については、「いない」の割合が18.2%となっている。

性・年代別では、いずれの年齢層でも女性に比べ男性の方が高く、40~70歳代では2割以上となっている。

	人数	割合	参考値(全県)	男性(再掲)	女性(再掲)
相談相手がいる	6,872	81.8%	81.5%	77.8%	85.6%
いない	1,526	18.2%	18.5%	22.2%	14.4%
計	8,398	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

性・年代別 「相談相手がない」人の割合(%)



■行事への参加状況

行事への参加状況については、「参加している」の割合が36.1%となっている。一方、「参加していない」は59.0%で、全県よりやや低い傾向があった。

性・年代別では、いずれの年齢層でも男性に比べ女性の方が行事に参加しており、60～70歳代では約半数を占めている。

	人数	割合	参考値（全県）	男性（再掲）	女性（再掲）
参加している	3,143	36.1%	42.8%	29.0%	42.7%
参加していない	5,138	59.0%	52.8%	65.4%	53.0%
開催を知らない	434	5.0%	4.3%	5.6%	4.4%
合計	8,715	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

性・年代別 「行事へ参加している」人の割合（％）

